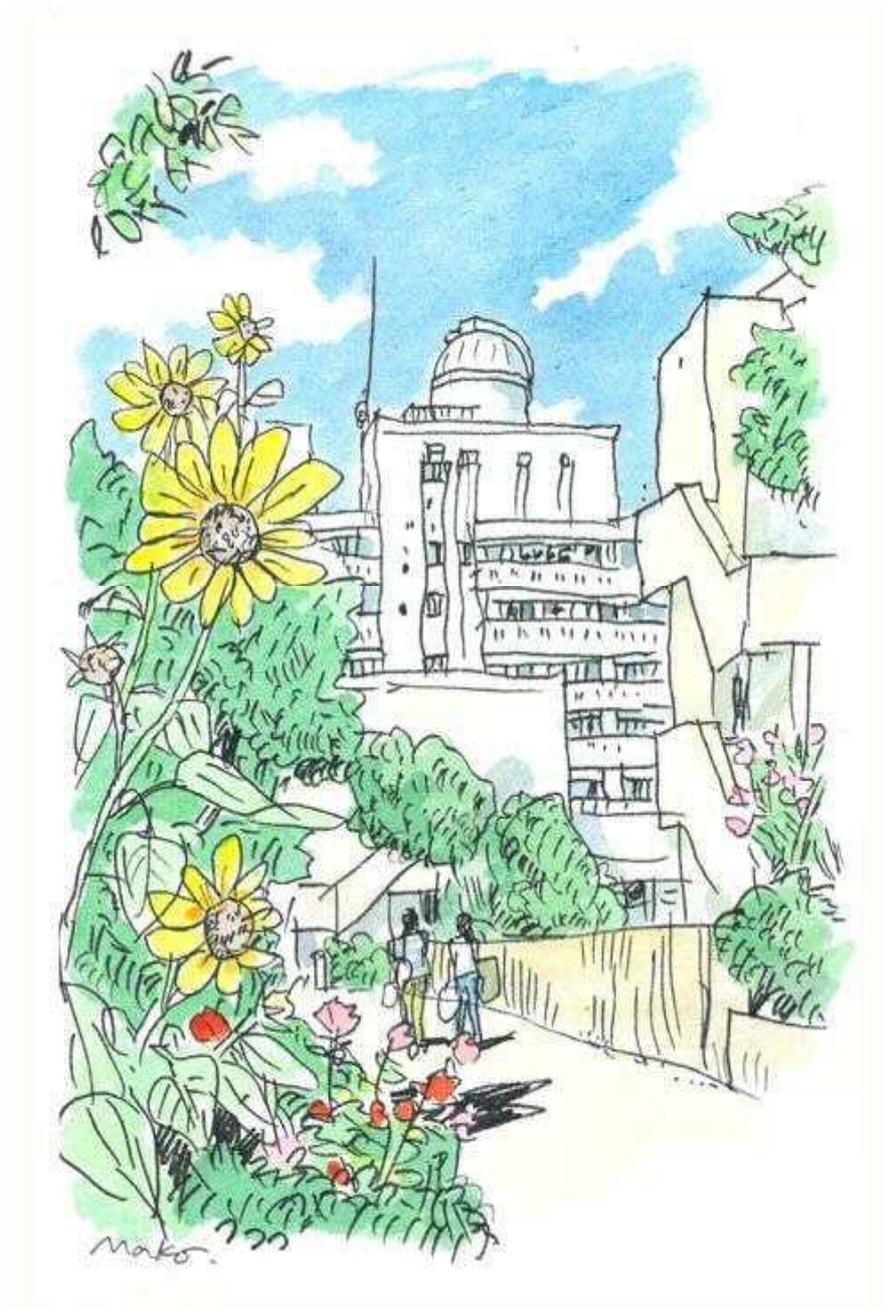


2012年度 学生生活実態調査報告書



岐阜大学
大学教育委員会

学生生活実態調査報告書の作成にあたって

2012年度岐阜大学学生生活実態調査のアンケート結果をここに報告します。前回の調査は2010年度でしたので、2年ぶりの調査となります。今回の調査は、10月の履修登録に重ねたため、高い回収率ではるかに信頼のできる調査になりました。

学部生の岐阜大学の志望理由としては、国立大学であることが第一に挙げられます。希望する学部・学科の存在も重要で、地元の大学であることが第三の理由になっており、6割の学生が自宅通学であることはこのことを裏付けているようです。7割の学生がアルバイトをしています。特に生活がたいへん苦しいと答えた学生は1割に溜まっています。また、7割がサークルに参加しており、勉学を第一に置いた生活をしている学生は4割にのびります。所属学部・学科に対して7割の学生は概ね満足しており、授業に対する満足度は、不満足な授業が多いわけではありませんが、満足する授業が多い～やや多いとするものが5割に溜まっています。

基盤的能力については、まだ意識して伸ばそうとできていない学生が4割程度いますが、授業の他、研究活動やサークル活動、あるいは数々の学生生活において伸ばそうとしている学生も多くいます。課題発見力、傾聴力、状況把握力、論理的思考力、計画力において、学生の達成目標はクリアしています。

これらの調査結果には、キャンパスライフを豊かにするための貴重な示唆が含まれていると思われます。教職員の皆様には今後の学生支援への取組みの参考にしていただけるとありがたいと思います。

最後になりますが、今回の実態調査にあたって、大変ご多忙な中貴重な時間を割いて担当いただいた学生生活実態調査WGの皆様、アンケートに協力いただいた学生諸君に、心より感謝の意を表します。

2013年4月

理事（教学・附属学校担当）・副学長
廣 田 則 夫

目次

A. 回収率と学生の所属	1
B. 通学と住居	2
C. 収入と支出	4
D. 学生生活	6
E. 修学状況（学部生）	9
E. 修学状況（院生）	15
F. 基盤的能力（学部生）	19
F. 基盤的能力（院生）	23
G. 課外活動等	26
H. 進路と就職	29
2012年度学生生活実態調査 質問項目・集計結果	30

グラフ中の略記の意味は以下の通り

全学：学部生と大学院生を合わせた全ての学生（回答数6409/在籍数7346）

教育：教育学部の学生（回答数1061/在籍数1078）

地域：地域科学部の学生（回答数458/在籍数469）

医学：医学部の学生（回答数521/在籍数914）

工学：工学部の学生（回答数2277/在籍数2395）

応生：応用生物科学部の学生（回答数876/在籍数886）

院生：大学院博士前期課程と博士後期課程を合わせた全ての院生（回答数1216/在籍数1604）

E. 修学状況(院生)においては以下の通り

教育：教育学研究科の院生（回答数134/在籍数139）

地域：地域科学研究科の院生（回答数47/在籍数50）

医学：医学系研究科の院生（回答数74/在籍数246）

工学：工学研究科の院生（回答数668/在籍数738）

応生：応用生物科学研究科の院生（回答数193/在籍数203）

連合：連合農学・連合獣医学・連合創薬医療情報研究科の院生（回答数99/在籍数228）

F. 基盤的能力については、学部生及び院生のうち最終学年の学生を集計した結果である。

なお、E、F、Hの「平均」とは、当該グラフに含まれる学生の平均とします。

A 回収率と学生の所属

高い回収率 (前回の調査から全体で2割以上の増)

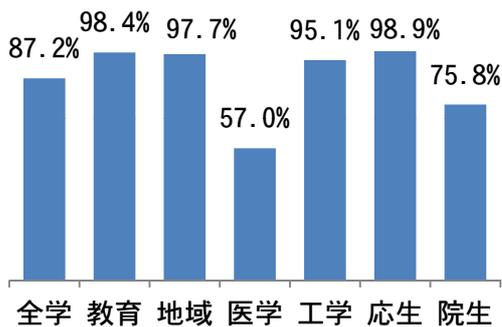
(1) 回収率

全学の回収率は87.2%、学部の回収率は90.4%、大学院の回収率は75.8%と極めて高い回収率となりました。

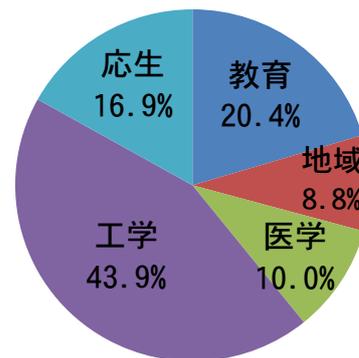
2010年の前回の調査から、22.4%も回収率が増加しました。

この要因はアンケートの実施形式を履修登録に重ね、工夫したことによるものです。あらためて協力いただいた学生諸君に感謝の意を表します。

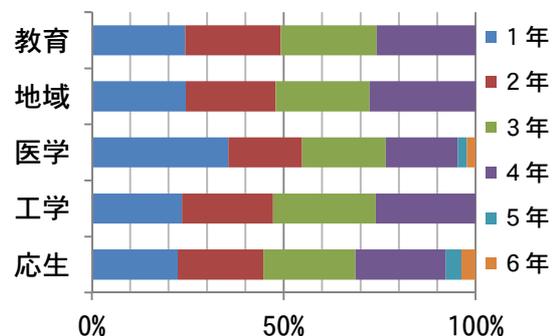
アンケート回収率



所属学部



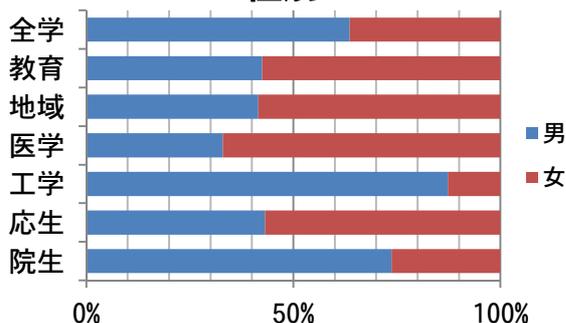
学部生の学年



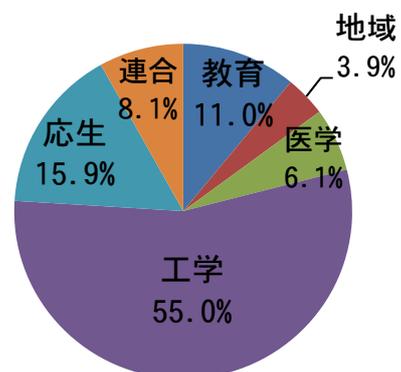
(2) 所属

アンケートに回答した学生の「性別」、「所属学部」、「学部生の学年」、「院生の所属研究科」別の内訳を示す。各項目ともに、母体となる学生数からして、偏りのないデータが得られていると考えられる。

性別



院生の所属研究科



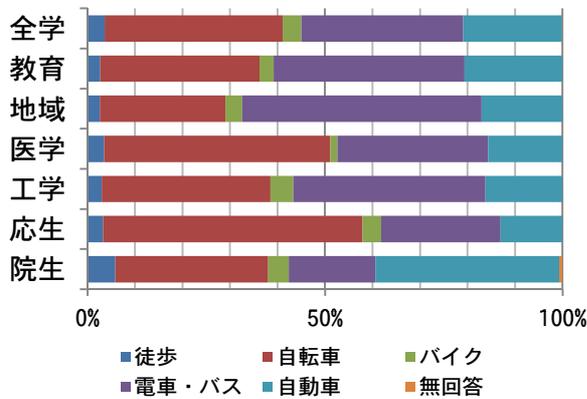
B 通学と住居

6割の学生が自宅生

(4割が1時間以上の通学時間、中には2時間以上も)

(1) 通学方法

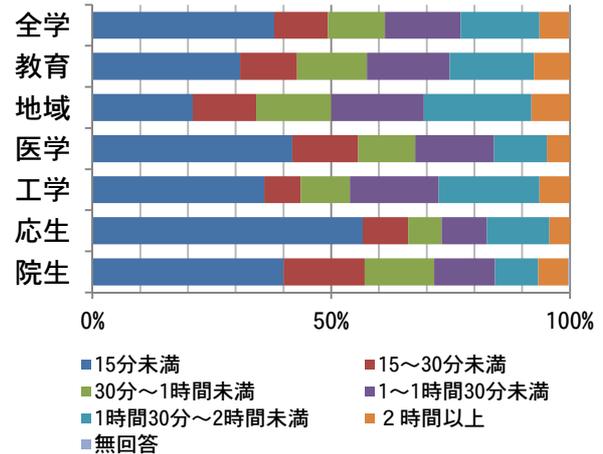
通学方法は全学で自転車が37.5%、電車・バスが34.1%であり、これら二つをあわせると7割以上を占める。また、自動車通学は20.8%、徒歩通学は3.6%、バイク通学は3.9%である。この結果は、前回の調査とほぼ同様である。



(2) 通学時間

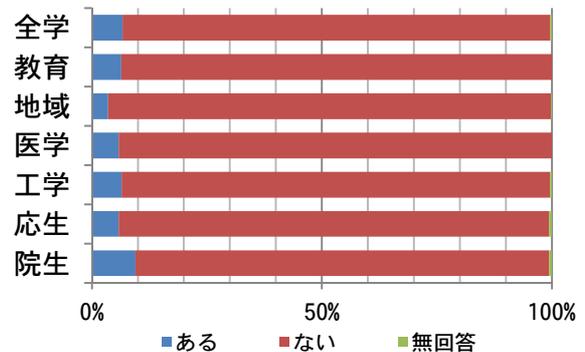
通学時間は全学で38.1%の学生が15分未満と答えている。1時間未満までの回答までを含めると6割以上になる。このように、通学時間が極端に長くない学生が過半数を占めてはいるが、2時間以上かけて通学する学生も6.3%存在している。

個別で見ると、応用生物科学部と医学部及び大学院では約4割以上の学生が15分未満の通学時間であり、1時間未満までの回答を含めると6割以上となる。これに対して、教育学部、地域科学部、及び工学部では、通学に1時間以上を費やす学部生が4割あり、かなりの割合を占める。通学時間が15分未満の学生が多いことは、以下に示す自宅外生が多いことに対応している。逆に、通学時間が長いのは自宅生が多い学部となっている。



(3) 交通事故

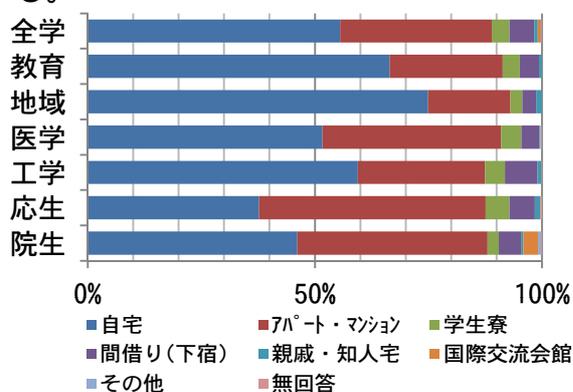
「通学中に交通事故にあった、または、起こしたことがありますか」との問いに対しては、全学の93%の学生は、ないと回答している。一見すると多くの学生は交通事故とは無縁のように思われる。しかし、あると答えた学生の詳細を見ると、院生の1割弱が交通事故を経験していることに気付かされる。先に見たように、院生の4割強が自動車通学していることと考えあわせると、自動車利用が交通事故に遭遇する可能性を高めているものと思われる。



(4) 住居

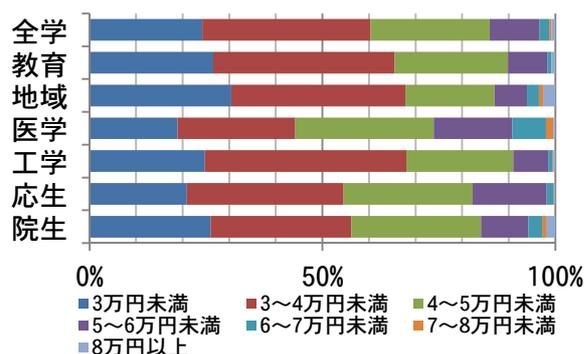
住居は、全学の55.6%の学生が自宅と回答している。自宅生が過半数を上回るというのが、本学の顕著な特徴である。自宅に次いで多いのが、アパート・マンションで33.3%である。学生寮および間借り（下宿）は、それぞれ3.9%および5.5%とごく少数であった。

個別で見ると、自宅生の割合は、地域科学部が最も高く74.9%、次いで教育学部66.5%、工学部59.5%となり、この傾向は先に見た通学時間の場合と似ている。すなわち、教育、地域、工学のグループと、院生、応生、医学のグループに分かれていることが見て取れる。



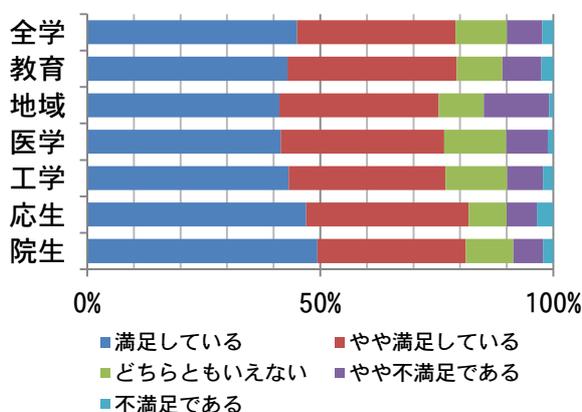
(5) 家賃

住居に関する質問で自宅以外を選んだ学生に対して、さらに「1ヶ月の家賃はいくらですか」と質問したところ、全学の24.2%が3万円未満、36.1%が3万円以上4万円未満、25.6%が4万円以上5万円未満と回答している。5万円までの家賃を払っている学生は8割以上を占める。その中でも過半数の学生が払っている家賃は、3万円以上5万円未満の範囲にあり、各学部及び大学院も同様の傾向である。



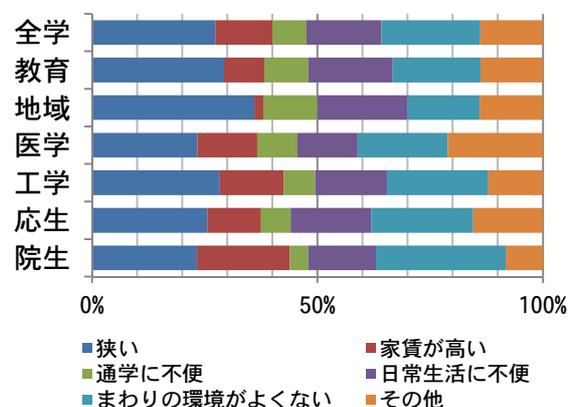
(6) 満足度

住居に関する質問で自宅以外を選んだ学生に対して、さらに「現在の住居に満足していますか」と質問したところ、満足している・やや満足していると回答したものは、全学で79%を占めた。どちらともいえないと回答したもので含めると、全学の90%にのぼる。学生達は、現在の住居にそれなりに満足していることがわかる。自宅以外の学生達は、各自の希望に応じて住居を選択するため、自ずと満足度が高くなると思われる。（つまり、不満足な場合は他へ転居する）



(7) 不満の理由

自宅外住居の満足度について、「やや不満足である」もしくは「不満足である」を選択した学生に対して、その理由を複数回答可で尋ねたところ、3割近い学生が「狭い」こと、約2割の学生が「まわりの環境がよくない」ことを挙げている。

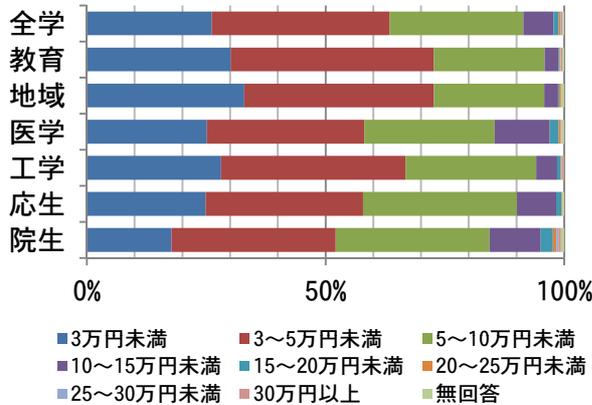


C 収入と支出

学部生の7割がアルバイト (コンビニが1位、家庭教師が2位)

(1) 1ヶ月の平均必要経費

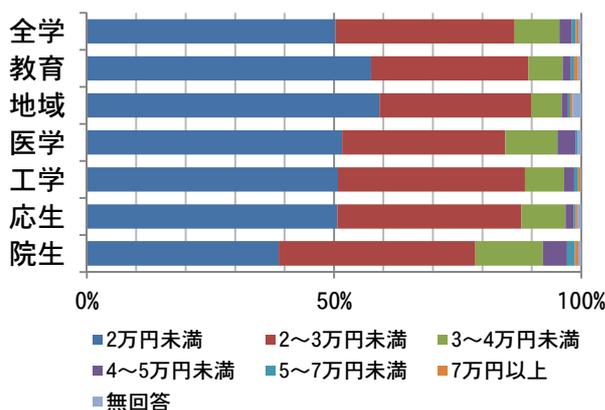
1ヶ月の平均必要経費は、全学部及び大学院とも3～5万円未満が最も多く、教育学部、地域科学部、工学部では次いで3万円未満、医学部、応用生物科学部、大学院では次いで5～10万円未満と続いている。



(2) 1ヶ月の平均食費

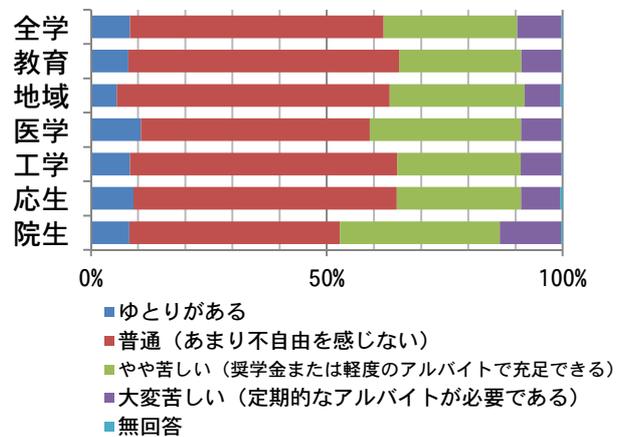
収入のうち、食費にどれだけかけているかをみると、全学部とも2万円未満が最も多く、次いで2～3万円未満と続いている。一方、大学院では2～3万円未満が39.8%、次いで2万円未満が38.8%とほぼ同じ割合である。

前回の調査と比較して全体では2万円未満が8%程度増加しており、食費を節約している傾向がみられる。



(3) 現在の経済状況

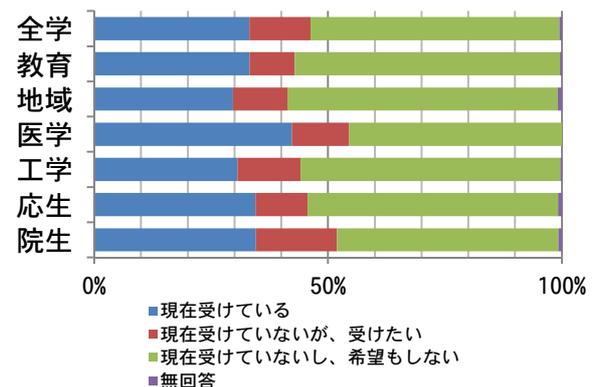
現在の経済状況を全学でみると、ゆとりがある、普通と回答した学生が6割以上となっている。しかしながら、大学院ではやや苦しい、大変苦しいと回答した学生が5割近くいる。また、大学院は大変苦しいと回答している院生が13.0%と1割を超えている。



(4) 奨学金を受けていますか

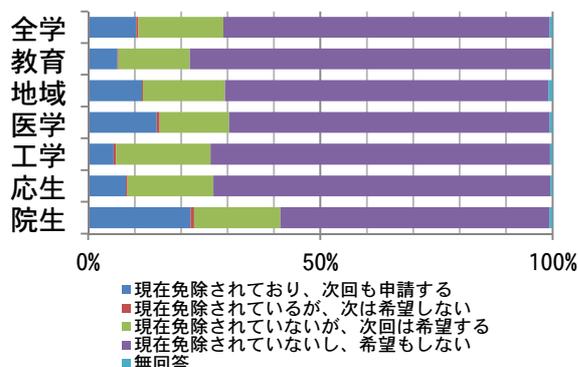
全学で33.2%が現在受けており、現在受けていないが受けたいを合わせると46.2%である。奨学金を現在受けている学生を学部別でみると、医学部が42.2%と最も多く、最も少ないのは地域科学部の29.7%である。

奨学金を現在受けている学生は、前回の調査と比較して全学で7%程度増加している。



(5) 授業料免除を希望しますか

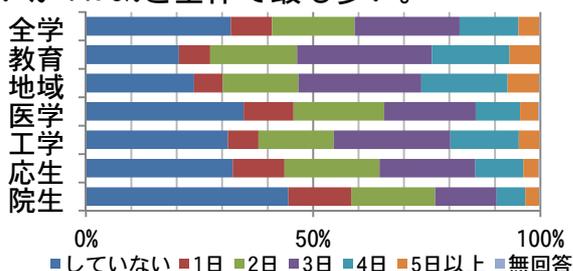
現在免除されており次回も申請するは、全学で10.3%である。学部別で見ると、医学部が14.8%と最も多く、工学部が5.5%と最も少ない。一方、大学院は全学の約2倍となる22%である。



このように、特に院生は前回の調査と同様に学部生に比べ勉学のための資金が不足していると考えられる。

(6) アルバイト状況

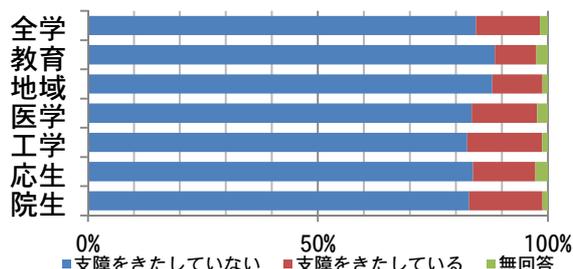
全学で68%の学生がアルバイトをしており、前回の調査より23%程度増加している。アルバイトの平均従事日数は週3日が23.1%と最も多く、次いで週2日が18.2%である。学部別で見ると、アルバイトをしていない学生の割合が最も低いのは教育学部で20.5%である。一方、大学院はアルバイトをしていないが44.6%と全体で最も多い。



(7) アルバイトによる勉学への支障

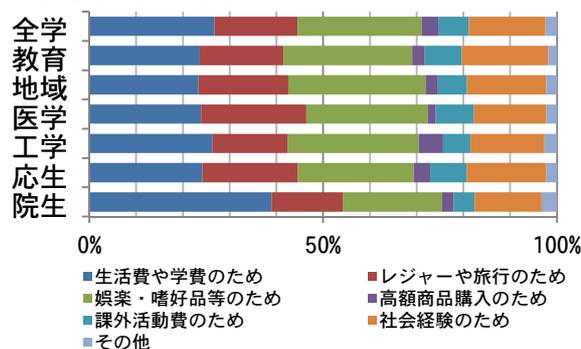
アルバイトにより勉学に支障をきたしているのは、全学で13.9%である。学部別で見ると、工学部が16.3%と最も多く、医学部が14.2%、応用生物科学部が13.6%、地域科学部が10.9%、最も少ないのは教育学部の9%である。大学院は16%と多少多い。あまりアルバイトが勉学の妨げになっていないようであるが、支障をきたしていると答え

た学生が前回の調査より6%程度増加している。



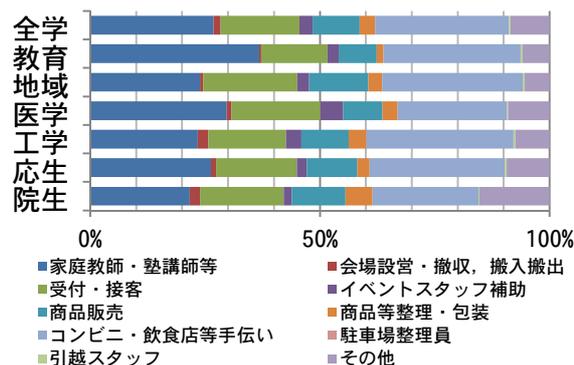
(8) アルバイトの主な目的

学部では娯楽・嗜好品等のためが多く、次いで生活費や学費のためである。一方大学院では、生活費や学費のためが38.9%、次いで娯楽・嗜好品等のためが21.3%であり、前回の調査と同様に生活費や学費のためが最も多くなっている。



(9) アルバイトの種類

アルバイトの種類は、全学でコンビニ・飲食店等手伝いが29.1%、家庭教師26.8%、受付・接客17.2%である。地域科学部、工学部、応用生物科学部、大学院でコンビニ・飲食店等手伝いが最も多く、家庭教師の順である。教育学部、医学部では、家庭教師、コンビニ・飲食店等手伝いの順となる。意外にも大学院生は家庭教師の割合が少ない。前回の調査も同様であった。

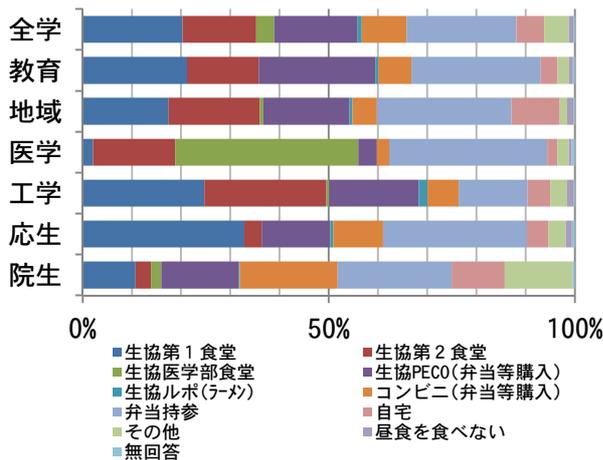


D 学生生活

迷惑行為の被害が微増傾向 (学生の相談しやすい仕組み作りが必要)

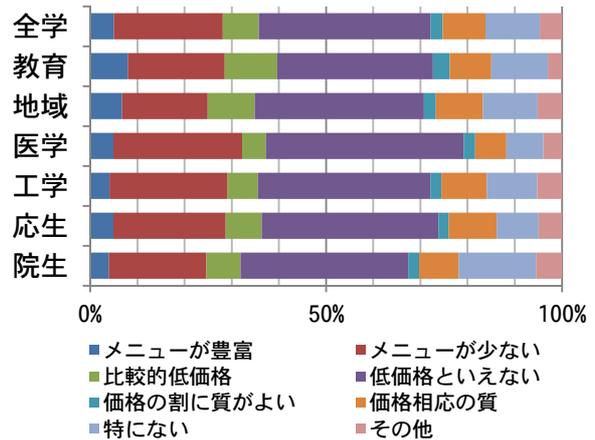
(1) 昼食は主にどこを利用していますか

全学では、弁当持参が22.3%【前回18.3%】、第1食堂が20.3%【28.6%、以下同】、PECO（弁当等購入）が16.9%【13.8%】、第2食堂が15%【17%】、と続き、弁当持参が前回2位から1位となった。2位の第1食堂が利用者を大幅に減らしており、その分に代わったのがコンビニ（弁当等購入）利用者9.1%である。学部別にみると、教育学部、地域科学部では弁当持参者が、医学部では、PECOが最も利用者が多く、工学部では第1食堂と第2食堂が同数であり、応用生物科学部では第1食堂が多いなど、前回に引き続いて、食堂までの距離が昼食場所を決める傾向がみられる。大学院ではコンビニが最多で、食堂を利用する場合もルポが活用されている。



(2) 学生食堂について感じていること

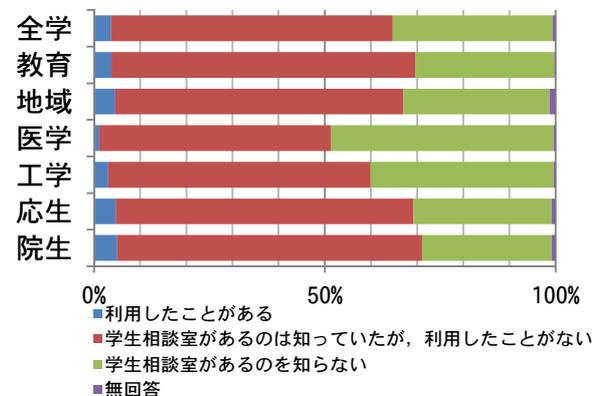
低価格と言えないと感じている割合が36.4%【38.5%】と高く、メニューが少ないと感じている割合も23.1%【16%】と高い。こうした点への不満の高さは前回と同じであり、全体にわたってほぼ同様の傾向がみられる。



(3) 学生相談室

今回の調査では学生相談室を知っている学生が全学で61%に達したものの、前回の70.6%に比べて10ポイント近く下げている。利用したことがある学生も前回4.3%に比べて今回3.7%と若干下がっており、学生に対して積極的にアピールしていく取り組みが急ぎ求められていると思われる。

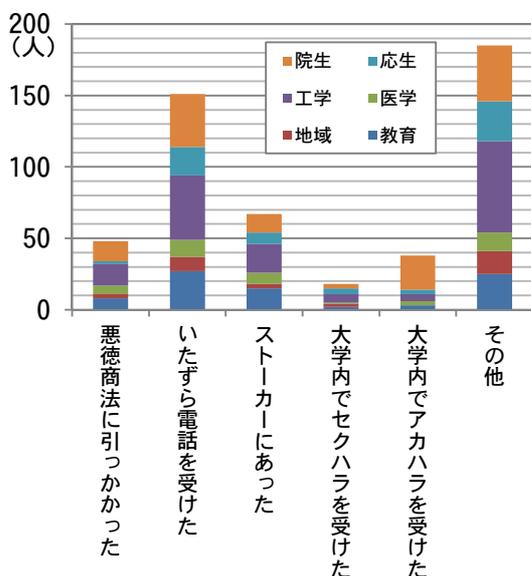
また、そうしたアピールを効果的に進めていくためにも、割合だけでなくこの相談内容についての統計を取っていくことが必要であろう。



(4) 迷惑行為

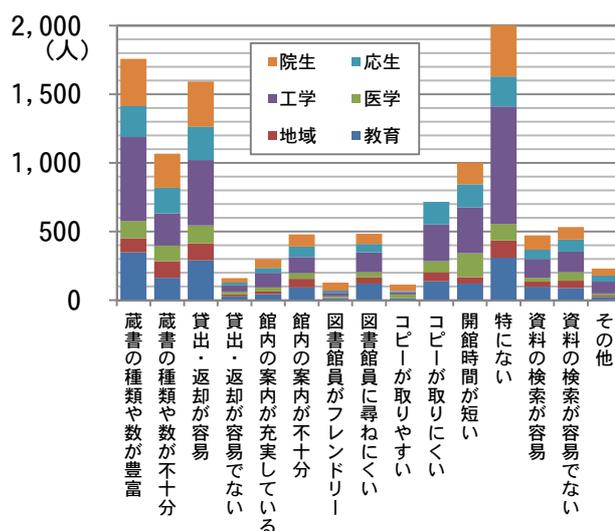
迷惑行為を受けたことはないと答えた学生は91.8%【93%】で、迷惑行為の

経験がある学生数は微増傾向にあるといえる。迷惑行為の具体的な内容では、いたずら電話がトップで151件【128件】、ストーカー67件【32件】、悪徳商法48件【50件】、アカハラ38件【24件】、セクハラ18件【15件】と続く。全体として増加傾向にあるが、アカハラ・セクハラ相談先としては友人が多く、ハラスメント相談員や学生相談員といった大学としての取組みが十分に機能しているとは言いがたい。教員への相談も少ない。学生が相談しやすい仕組み作りが急務であるといえる。



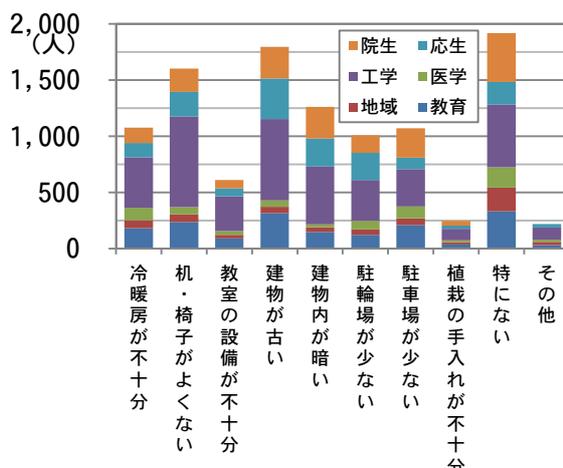
(5) 図書館について感じていること

蔵書の種類では豊富1,759件、不十分1,068件となっており、貸出・返却では容易1,593件、容易でない161件と評価されている。特にないとする回答が2,006件あることと合わせて考えても、少なくとも大きな不満は持たれていないといえる。ただし蔵書が不十分とする回答が少ないとはいえず、しかも学部より大学院で高くなっていることから、より専門的な研究のための蔵書という点では改善の余地がありそうである。また開館時間が短い1,003件あり、いつでも図書館を利用できる環境を望む声が高まっている。



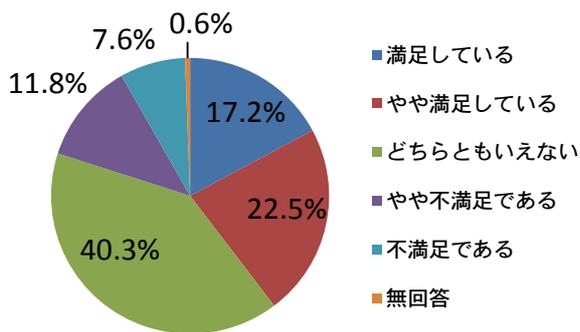
(6) 大学の施設で気になること

建物が古い1,796件、机・椅子がよくない1,602件、建物内が暗い1,261件、冷暖房が不十分1,076件、駐車場が少ない1,072件、駐輪場が少ない1,007件などが目立つ。建物が古い、机・椅子がよくないという点は直ちに対処することが難しいが、震災対策とも関連する可能性があり、注意すべきであろう。建物内が暗い、冷暖房が不十分という点は、節電がすすんだ結果でもありと考えられる。また駐車場が少ないことへの不満は相変わらず強いが、それと拮抗するほどに駐輪場が少ないことへの不満が増えている点は注目される。



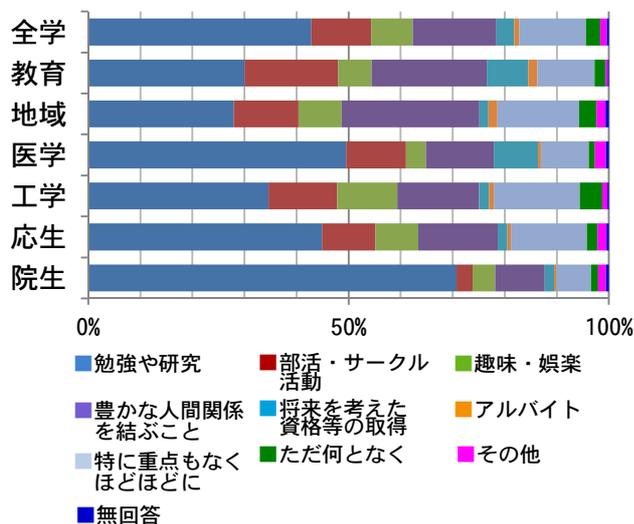
(7) 事務室の対応に満足していますか

全学では、満足が4割、どちらともいえない4割、不満足が2割である。



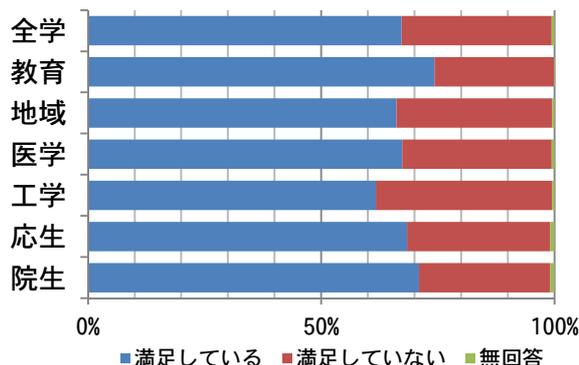
(8) あなたは、何を第一に置いた生活をしていますか

全学では勉強や研究42.9%【41%】、豊かな人間関係を結ぶこと16.1%【15.2%】、特に重点もなくほほどに12.8%【11.4%】となっている。順位や割合に大きな変化は見られないが、「ほほどに」の割合が増加傾向にあるのが気にかかる。この設問では学部と大学院の差が顕著であり、大学院では勉強や研究70.7%、豊かな人間関係を結ぶこと9.5%、特に重点もなくほほどに6.7%となっている。



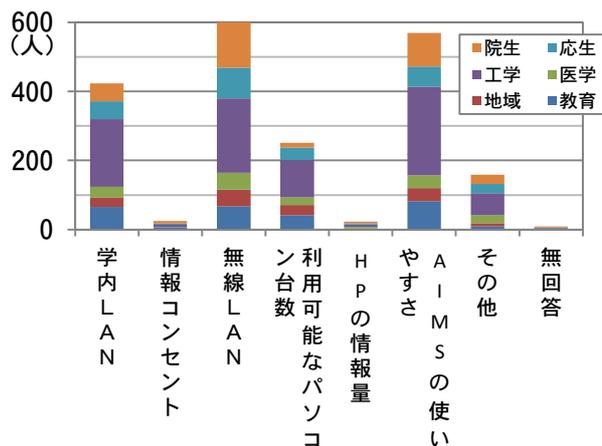
(9) 大学のICT(情報・通信技術環境)に満足していますか

全学的には満足67.2%、満足していない32.2%という結果となった。一応満足度は高いと行っていいと思われる。学部別でみると、教育学部がやや高く、工学部でやや低い数値となっている。



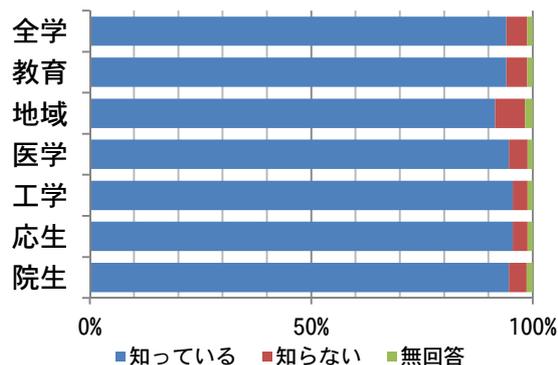
(10) 大学のICTに満足していないのは、どの環境ですか

満足していないとした回答者に具体的にはどの点かを聞いたところ、無線LAN29.3%、AIMSの使いやすさ27.6%、学内LAN20.5%という結果となった。



(11) あなたは、岐阜大学が「キャンパス内全面禁煙」を宣言していることを知っていますか

全学では知っているが94.1%、知らないが4.7%となった。学内への周知はかなりすすんでいるといえる。



E 修学状況(学部生)

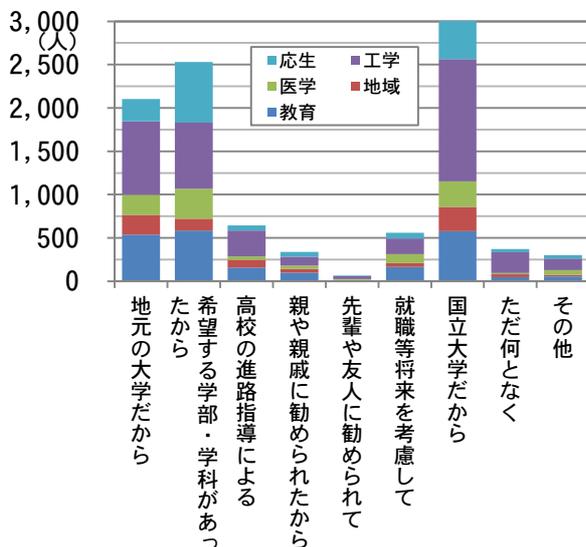
学生の単位取得、授業への出席に改善の兆し！

(しかしながら、「授業の予習・復習時間」は1時間未満が66%)

(1) 本学を選んだ主な理由

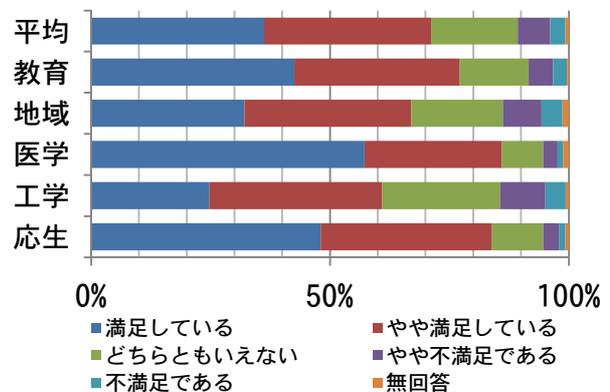
本学の志望理由は、全体で見ると、「国立大学だから」が30.3%で1位、「希望する学部・学科があったから」が25.5%で2位、「地元の大学だから」が21.2%で3位である。前回調査の全体の志望理由は、「国立大学だから」が28.3%で1位、「希望する学部・学科があったから」が27.2%で2位、「地元の大学だから」が24.3%で3位であったことから、これらの三つが継続して主要な志望理由となっている。

学部別の傾向でもほぼ同様であるが、教育学部、医学部及び応用生物科学部は、「希望する学部・学科があったから」を挙げた割合が一番高く、それぞれ26.2%、30.7%、及び42.1%である。地域科学部と工学部は「国立大学だから」を挙げた割合が一番高く、それぞれ31.8%、35.2%である。本学の志望理由に大きな変化はなく、「自分のやりたいことを勉強するため」という理由に加え、「地元の国立」という点が継続して重要な要素となっている。



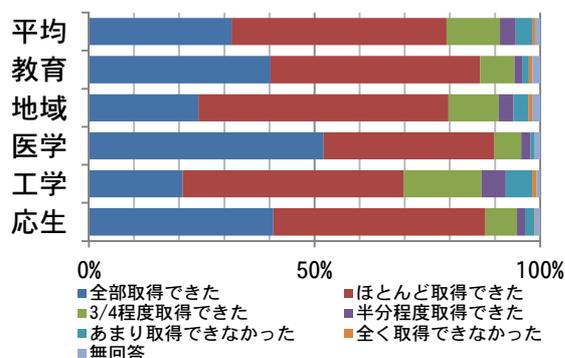
(2) 所属学部・学科に対する満足度

所属する学部・学科に対して「満足している」と答えた学生は全体で36.2%、「やや満足している」と答えた学生は35%であり、両者を加えると71.2%の学生は、概ね満足しているようである。2010年度の全体の満足度が、「満足している」と「やや満足している」を加えると65%であったことと比べて、2012年度の所属学部・学科に対する満足度はやや高くなった。また、各選択肢に得点を与え、「満足している」を5点、「やや満足している」を4点、「どちらともいえない」を3点、「やや不満足である」を2点、「不満足である」を1点とした。そして、学部ごとに満足度を点数化してみると、2012年度は、教育学部が4.1、地域科学部が3.8、医学部が4.4、工学部が3.7、応用生物科学部が4.3である。2010年度は、教育学部が4.1、地域科学部が3.8、医学部が4.4、工学部が3.9、応用生物科学部が4.2であったことから、ほぼ同様の点数となり、いずれの学部も満足度は比較的高い。



(3) 単位取得状況

これまでの単位取得状況は、全体で、「全部取得できた」が31.6%、「ほとんど取得できた」が47.6%であり、両者を加えた79.2%の学生は順調に単位を取得している。それに対して、全体の7.1%の学生は、半分程度、あるいはそれ以下しか単位を取得できていない。前回調査の全体の単位取得状況では、「全部取得できた」が29.2%、「ほとんど取得できた」が32.3%で、両者を加えると61.5%であった。また、半分程度、あるいはそれ以下しか取得できていない学生は全体で6.2%であった。「全部取得できた」と「ほとんど取得できた」を加えた単位取得状況は、大きく改善されている一方で、半分程度、あるいはそれ以下しか単位を取得できていない学生の割合も高くなっている。すなわち、単位を取得できる学生と単位を取得できない学生との間に差が広がっている。このことは、勉強する学生と勉強しない学生との差を表しているとも考えられるので、さらに検証が必要である。

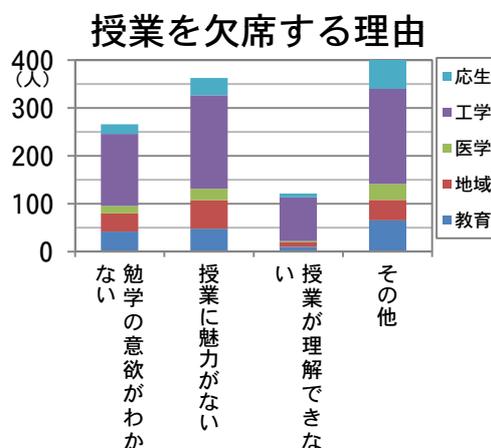
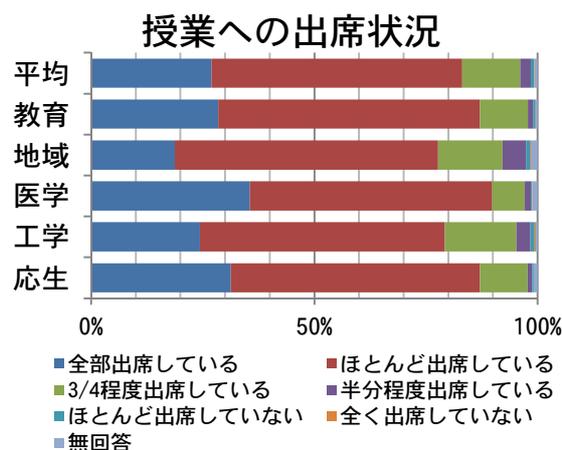


(4) 授業への出席状況

出席状況は、全体では、「全部出席している」が27%、「ほとんど出席している」が56.1%であり、両者を加えた83.1%の学生は出席状況に問題はない。一方、0.9%の学生はほとんど授業に出席していない。前回調査の全学の出席状況は、「全部出席している」と「ほとんど出席している」を加えると62.7%であり、ほとんど授業に出席していない学生は2%であったので、授業

への出席状況は改善されている。

また、授業の欠席理由は、「授業に魅力がない」の31.3%、「勉学の意欲がわからない」の22.9%、「授業が理解できない」の10.4%の順で挙げられた。前回調査の欠席理由は、それぞれ32%、19.7%、10.2%であったので、「勉学の意欲がわからない」の割合がやや高くなったが、ほぼ同様の結果となっている。

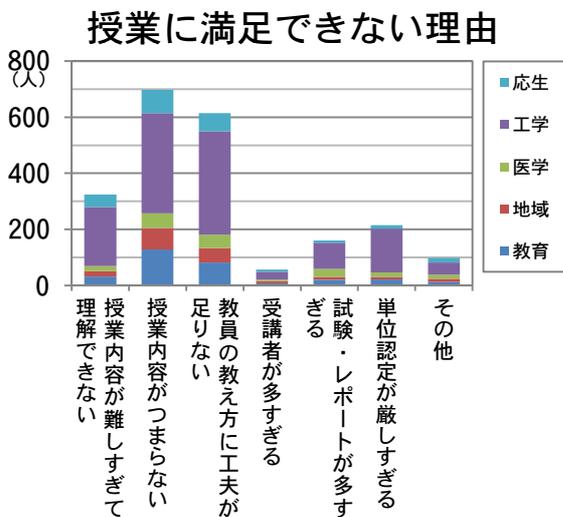
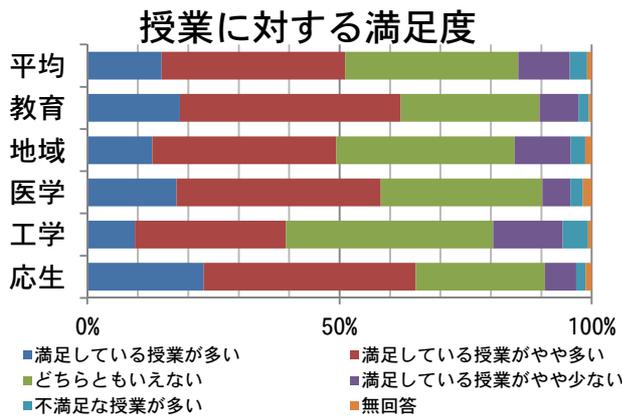


(5) 授業に対する満足度

授業に対する満足度では、全体で「満足している授業が多い」が14.7%、「満足している授業がやや多い」が36.4%である。前回調査の満足度が、それぞれ13.1%、24.8%であったので、授業に対する満足度は高くなった。

また、満足できない理由としては、「授業内容がつまらない」が32.2%、「教員の教え方に工夫が足りない」が28.4%、「内容が難しすぎて理解できない」が15%の順で挙げられた。

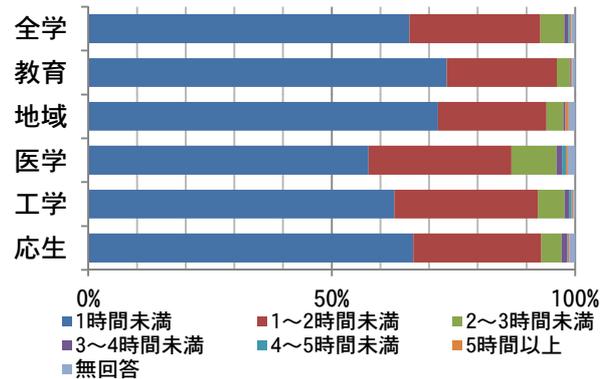
前回調査における満足できない理由は、それぞれ33.8%、24.8%、19.9%であった。全般的に授業に対する満足度は高くなり、つまらない、難しく理解できないといった授業への不満は年々改善されている。しかし、工夫が足りないといった教員側に対する不満はやや高くなった。引き続き、大学・教員側と学生側双方における問題点を検証する必要がある。



(6) 授業の予習・復習時間

1日に予習・復習にかける平均時間は、「1時間未満」が66%、「1～2時間未満」が26.9%であり、「2時間以上勉強する」のはわずか6.4%しかない。前回の調査では、「1時間未満」が52.3%、「1～2時間未満」が17.1%であり、「2時間以上勉強する」のは6%であった。無回答が前回24.8%から今回0.8%へと大きく減少し、

その分が「2時間未満」と「1～2時間未満」に振り分けられた。「2時間以上勉強する」学生にはほぼ変化がなく、勉強しない学生が調査に正直に回答した結果といえよう。ただし、このことは本学に特有な傾向ではない。例えば、新潟大学の調査(18年度)では50%、徳島大学(19年度)では66%、北海道大学(18年度)では48%の学生が「1時間未満」の予習・復習時間を回答しており、どの大学も概ね同じ状況である。学生の予習・復習時間に改善がみられたわけでは不是にもかかわらず、単位取得状況が改善していることについてさらに検証する必要がある。授業への出席状況が改善されていることから、例えば、単位取得が容易になったことや、授業時間だけで十分な理解が得られていることについて確かめる必要がある。



(7) オフィスアワーの利用

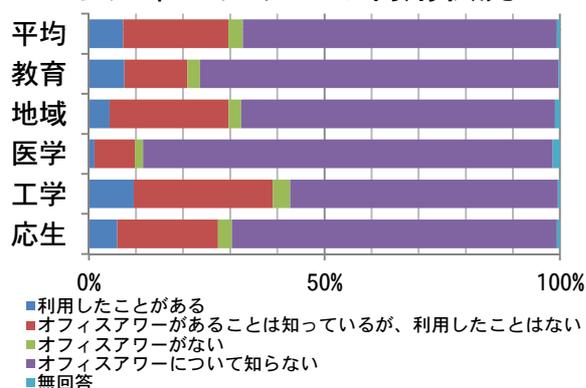
オフィスアワーを利用したことがあるかとの問いには、全体でわずか7.2%しか利用した経験のある学生がいない。また、66.7%の学生は、オフィスアワーの制度そのものを知らないと回答している。オフィスアワーの制度を知っていても利用したことがない学生は22.4%である。前回調査は、「利用したことがある」が6.1%、「オフィスアワーについて知らない」が64.5%、「オフィスアワーがあることは知っているが、利用したことはない」が11.7%であった。

また、利用しない学生は、その理由

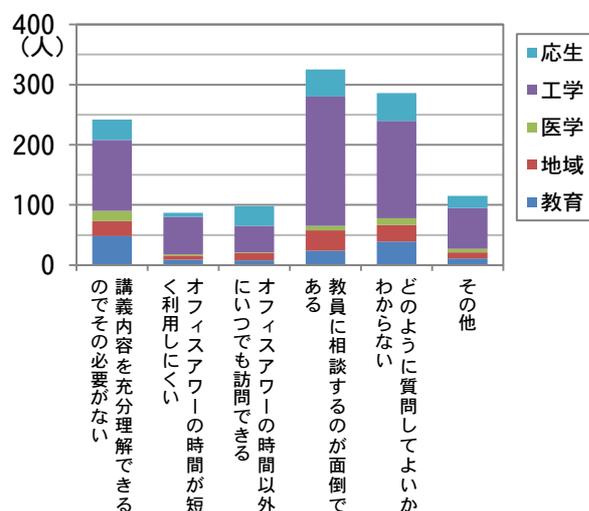
として、「教員に相談するのが面倒である」の28.2%、「どのように質問してよいかわからない」の24.8%の順で挙げている。無回答が前回調査の15.1%から今回の0.6%へと減少したことにより、制度を知っている学生が増えたように見えるものの、オフィスアワーの利用状況および制度を知らない学生割合にはほとんど改善がみられていない。継続して、この制度について学生への周知を図りたい。

これまでの内容から、「授業を理解できない」学生の背景には、予習や復習に費やす時間が少なすぎる、授業に十分に出席していない、オフィスアワー等を利用して教員へ質問に行かず、わからない点をそのままにしていることが考えられる。これらの問題点を検証し、対応していくことが必要である。

オフィスアワーの利用状況



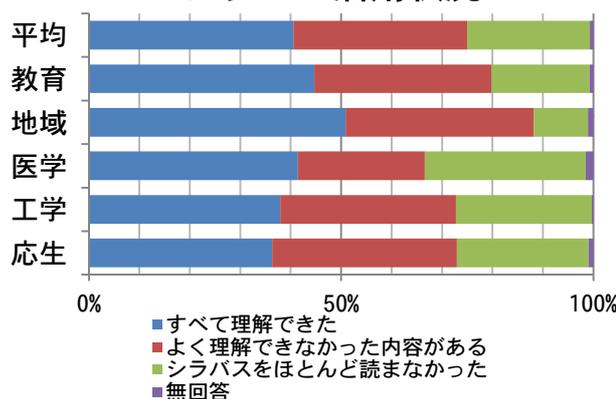
オフィスアワーを利用しない理由



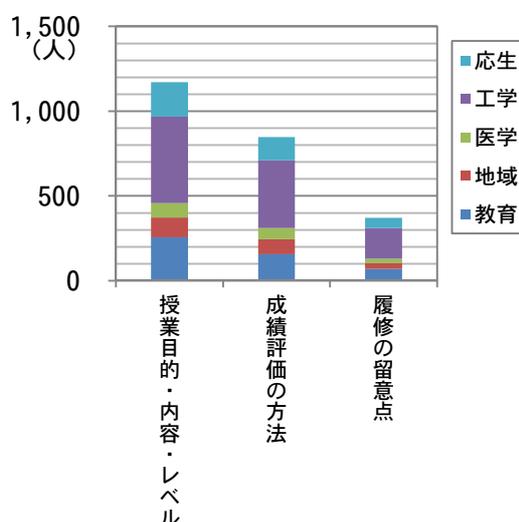
(8) シラバスの活用

シラバスの活用状況は、全体で見ると、「すべて理解できた」が40.5%、「よく理解できなかった内容がある」が34.5%、「シラバスをほとんど読まなかった」が24.3%である。「すべて理解できた」と「よく理解できなかった内容がある」は、すべての学部で同じような傾向がみられる。しかし、「シラバスをほとんど読まなかった」には学部によって違いがみられ、医学部が31.9%で割合が一番高く、地域科学部が10.7%が一番低い。理解できなかったシラバスの内容は、「授業目的・内容・レベル」の48.7%、「成績評価の方法」の35.7%、「履修の留意点」の15.7%の順で挙げられた。

シラバス活用状況

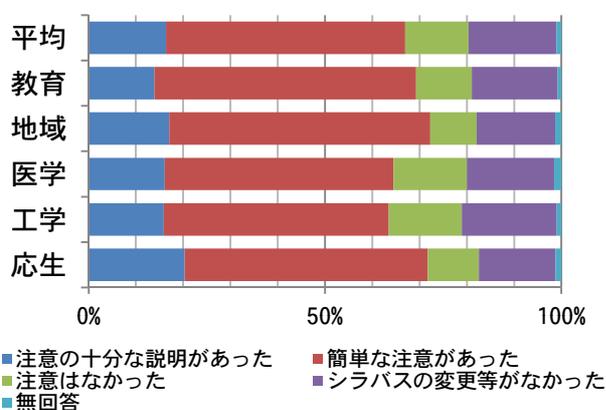


シラバスで理解できなかった内容



(9) シラバスの変更等の周知

シラバスの変更等の周知は、全体で「注意の十分な説明があった」が16.4%、「簡単な注意があった」が50.6%であり、両者を加えた67%でシラバスの変更等について何らかの説明があったことになる。また、「注意はなかった」が13.4%、「シラバスの変更等がなかった」が18.6%であり、シラバスに大きな変更等がないこともある。そのため、シラバスに重要な変更等があった場合に十分な説明がなされているかが問題点となろう。

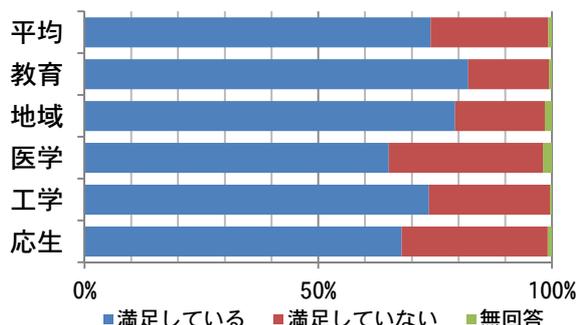


(10) 自主的学習環境に対する満足度

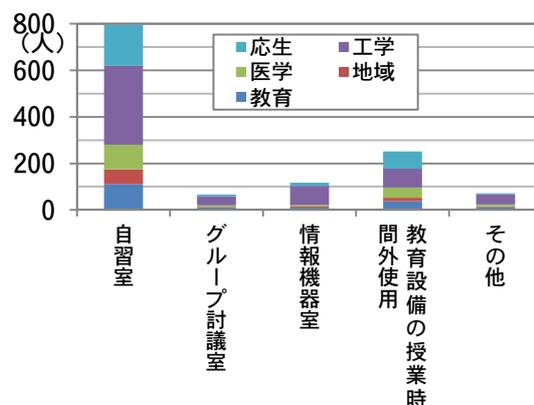
大学の自主的学習環境に対する満足度では、全体でみると、満足している学生が74%、満足していない学生が25.2%である。満足していない自主的学習環境として、「自習室」が61.1%、「教育設備の授業時間外使用」が19.3%、「情報機器室」が9%、「グループ討議室」が5.1%である。特に、自習室の利用環境に対して不満が多く挙がっている。これに加えて、自由意見の中に挙がっている内容から、自習室の使用が限られていて使いたいときに使えないという事態が生じている様子が伺える。

ただし、試験前などの時期に利用者が急増するために生じている面もあるので、さらに検証を加え、対応することが望まれる。

自主的学習環境に対する満足度



満足していない自主学習環境

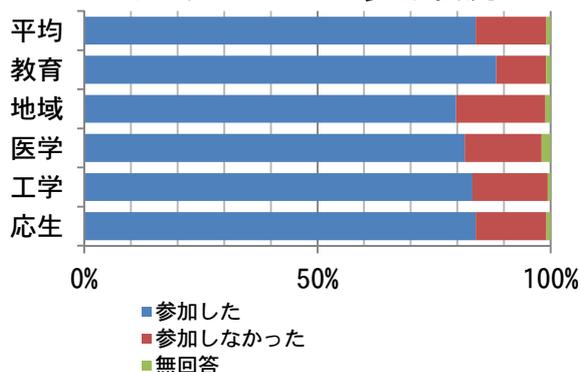


(11) ガイダンスへの参加

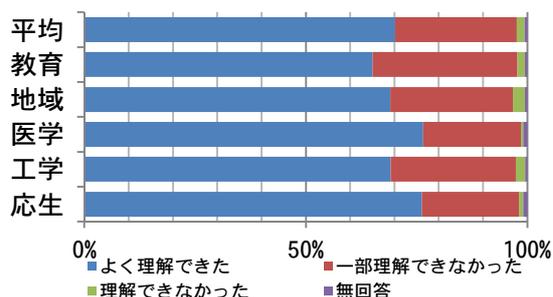
履修ガイダンスへの参加状況では、全体でみると、参加した学生が83.9%、参加しなかった学生が15.2%である。

また、参加した学生のうち、ガイダンスの内容を「よく理解できた」が70.2%、「一部理解できなかった」が27.5%、「理解できなかった」が1.7%である。そのため、理解できなかった内容について、学生がどのように対応しているかという問題点を検証する必要がある。

ガイダンスへの参加状況



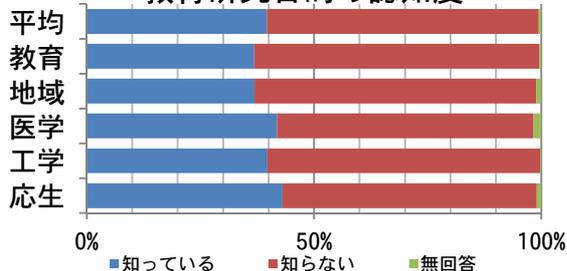
ガイダンスの内容に対する理解度



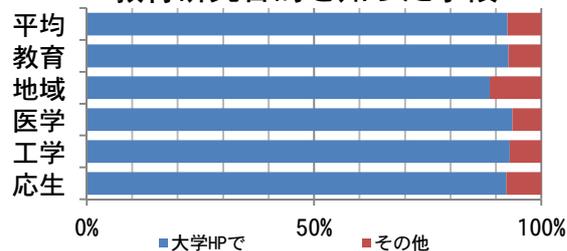
(12) 学部の教育研究目的

所属する学部の教育研究目的を知っているかという問いには全体で、知っている学生が39.7%、知らない学生が59.7%となった。学生が所属する学部の教育研究目的を知りえた手段としては、「大学HPで」が92.5%と一番高く、その他の内訳は「パンフレット・冊子」の24%(29人)、「教員」の23.1%(28人)、「ガイダンス」の19.8%(24人)、「授業・講義・講演」の19%(23人)の順に比較的高い割合である。

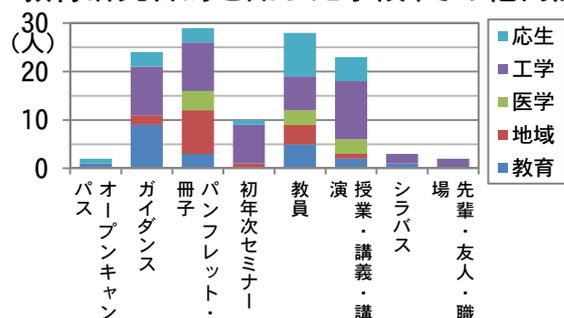
教育研究目的の認知度



教育研究目的を知った手段



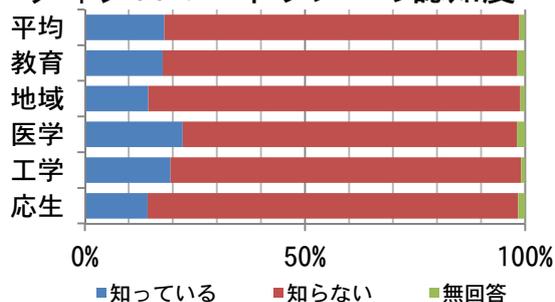
教育研究目的を知った手段(その他内訳)



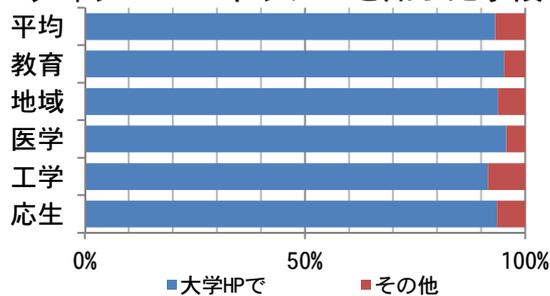
(13) 学部の学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)

所属する学部の学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)を知っているかという問いには、全体で知っている学生が18.1%、知らない学生が80.6%である。学生が所属する学部の学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)を知った手段としては、「大学HPで」が93.2%と圧倒的に高く、その他の内訳は「ガイダンス」の34.1%(15人)、「パンフレット・冊子」の29.6%(13人)、「授業・講義・講演」の22.7%(10人)、「教員」の9.1%(4人)、「先輩・友人」の4.6%(2人)の順に高い。

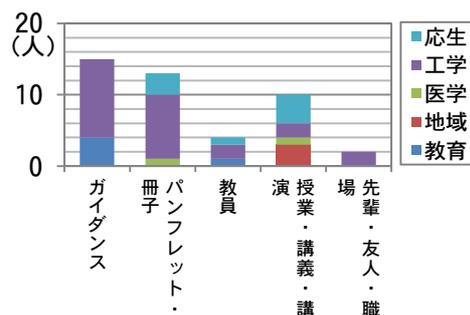
ディプロマ・ポリシーの認知度



ディプロマ・ポリシーを知った手段



ディプロマ・ポリシーを知った手段 (その他内訳)



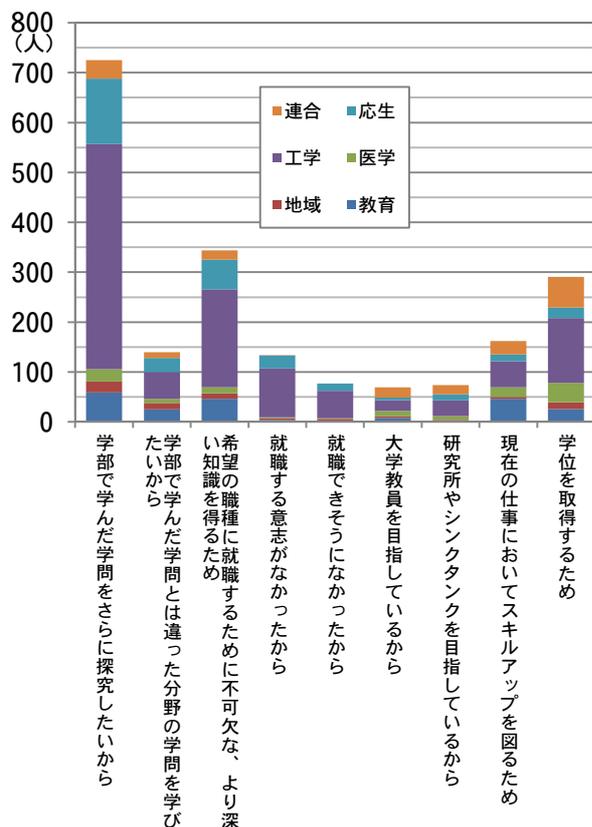
E 修学状況(院生)

学問をさらに探究

(TAの担当経験が前回の調査から2割以上増加)

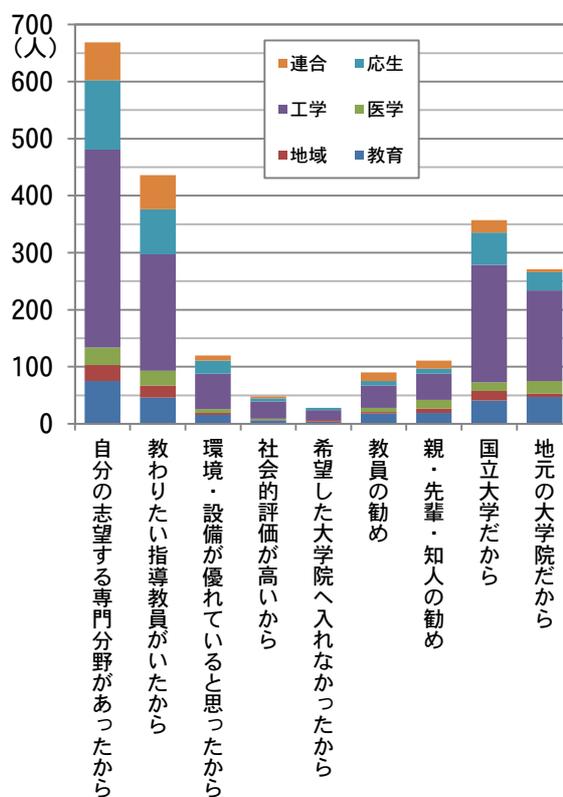
(1) 大学院を受験した理由

大学院を受験した理由としては、「学部で学んだ分野をさらに探究したい」が全体の1位で35.9%、「希望の職種に就職するために必要な深い知識を得るため」が2位で17.1%、「学位を取得するため」が3位で14.5%、「現在の仕事においてスキルアップを図るため」が4位で8%となっている。これらの割合は各研究科間で概ね同じであるが、工学研究科および応用生物科学研究科は、「学部で学んだ分野をさらに探究したい」を挙げた割合が他の研究科と比較して特に高く、それぞれ41.3%および42.3%となっている。また、医学系研究科、連合研究科では博士課程の学生が多いためか、「学位を取得するため」が理由の1位となっている。



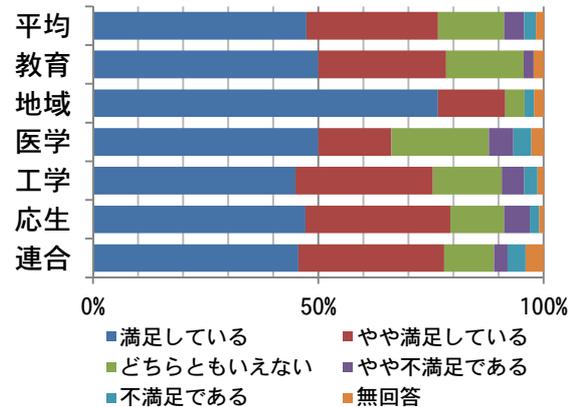
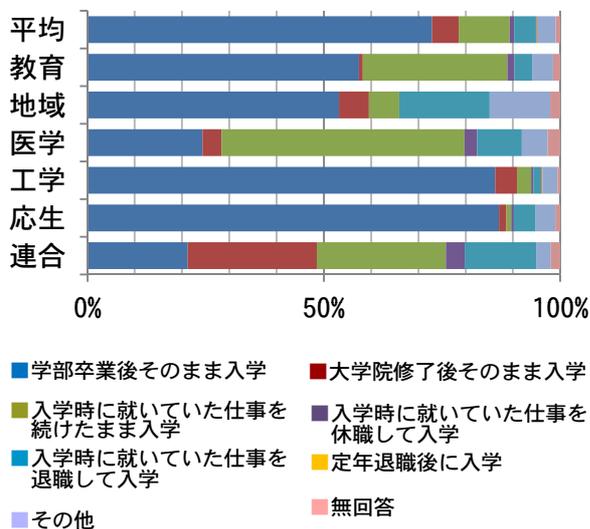
(2) 岐阜大学大学院を選んだ理由

岐阜大学大学院を選んだ理由としては、「自分の志望する専門分野があったから」が31.4%と全体で1位となり、これは各研究科でも1位の理由となっている。特に応用生物科学研究科及び連合研究科はこの理由を挙げる割合が35.8%および34.4%と他の研究科に比べてやや高い。全体の2位には20.5%で「教わりたい指導教員がいたから」が、3位には16.8%で「国立大学だから」が理由として挙げられており、これらの理由はどの研究科でも上位の理由となっている。



(3) 入学までのキャリア

大学院へは学部からそのまま進学する割合が最も高く、全体で72.9%である。中でも、工学研究科と応用生物科学研究科はこの割合が非常に高く、それぞれ85%以上となっている。次いで割合が高い回答は「入学時に就いていた仕事を続けたまま入学」であり、全体で10.8%を占めている。医学系研究科では医師として勤務する傍ら学位の取得を目指す者が多いと思われ、「入学時に就いていた仕事を続けたまま入学」の割合が51.4%と他の研究科と比べてかなり高い。



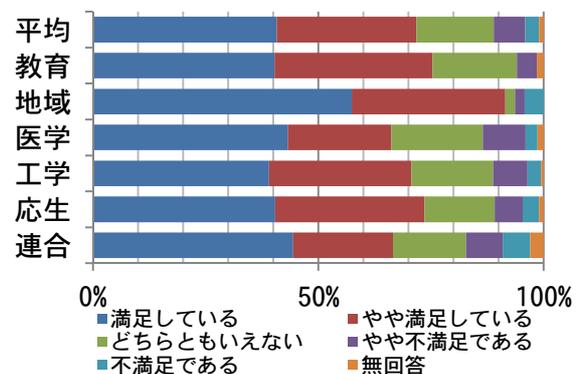
(5) 授業・研究環境に対する満足度

現在の授業・研究環境に対する満足度は、前述の「研究指導方法に対する満足度」とほぼ同様の結果である。すなわち、「満足している」40.8%と「やや満足している」31%を合わせた割合は71.8%であり、概ね授業や研究環境に満足しているといえる。また、研究科別で見た結果も先ほどと同様であり、教育学研究科、地域科学研究科、工学研究科、応用生物科学研究科では、いずれも「満足している」と「やや満足している」を合わせた割合が70%以上となっている。しかし、連合研究科と医学系研究科ではその割合が66.6%および66.2%であり、やや満足度が低い。「不満足である」と「やや不満足である」を合わせた割合は連合研究科が14.2%とやや高いが、全体では10.1%となった。

(4) 研究指導方法に対する満足度

現在受けている研究指導方法について、「満足している」と回答した者は全体で47.4%、「やや満足している」と回答した者は29.2%であり、両者を合わせると76.6%の大学院生は概ね指導方法に満足しているようである。両者を合わせた割合は各研究科別で見ると、地域科学研究科で91.5%、応用生物科学研究科で79.3%、教育学研究科で78.4%、連合研究科で77.9%、工学研究科で75.4%と満足度は高いといえる。特に教育学研究科の満足度は前回調査の37.5%より大きく上昇した。

なお、医学系研究科は66.2%であり、満足度がやや低い傾向がみられた。

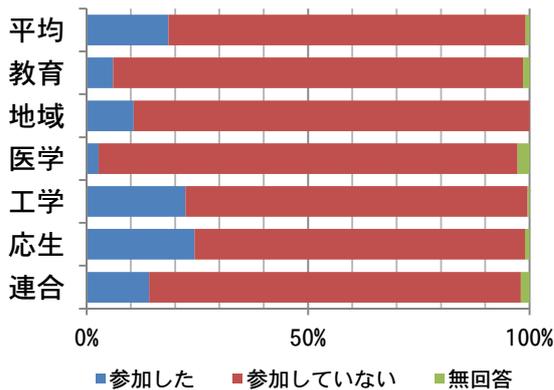


(6) インターンシップへの参加

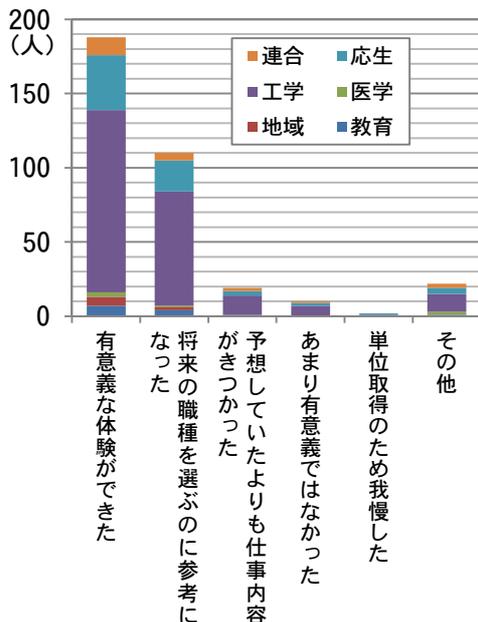
インターンシップへ参加した大学院生の割合は前回調査の13.5%よりわずかに増えて18.5%であった。参加した院生はやや増加したものの、まだ非常に少ない。そのほとんどを工学研究科および応用生物科学研究科が占めた。

参加した院生からは、「有意義な体験ができた」が53.6%、「将来の職種を選ぶのに参考になった」が31.3%など、肯定的な感想が多く挙げられている。「あまり有意義ではなかった」と回答した院生はわずか2.9%であり、今後すべての研究科でさらにインターンシップへの積極的な参加を啓蒙する必要がある。

インターンシップへの参加状況



インターンシップに参加した感想

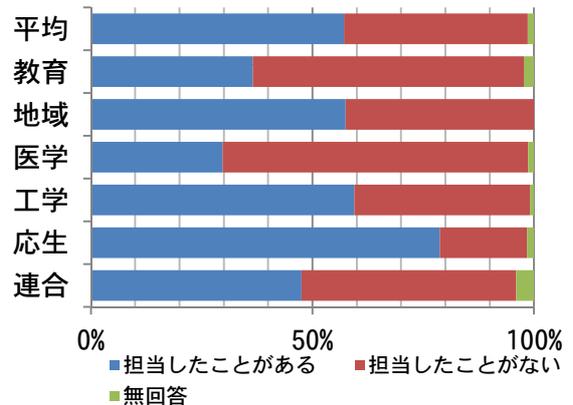


(7) TA、RAの担当

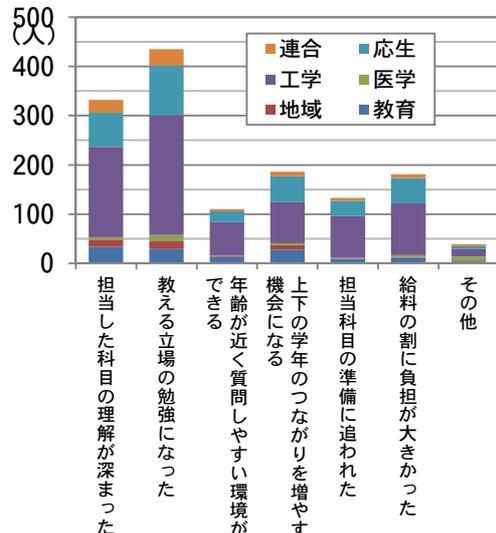
TAの担当経験に関する調査では、「担当したことがある」と回答した者が57.2%と前回調査の25.8%よりかなり増加した。各研究科別でみると、応用生物科学研究科で78.8%、工学研究科で59.4%、地域科学研究科で57.5%と高く、連合研究科で47.5%、医学研究科で29.7%、教育学研究科で36.6%と低かった。

TAを担当した者の感想では、「教える立場の勉強になった」と回答した者が30.7%、「担当した科目の理解が深まった」が23.5%であり、担当したことが有意義であったと思われる。しかし、「給料の割に負担が大きかった」と回答した者が12.8%あり、内容の見直し、あるいは予算の増額等の措置が必要かもしれない。

TAの担当経験



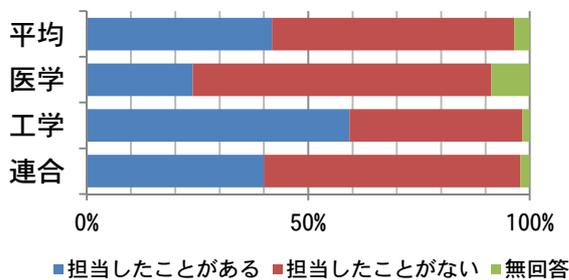
TAを担当した感想



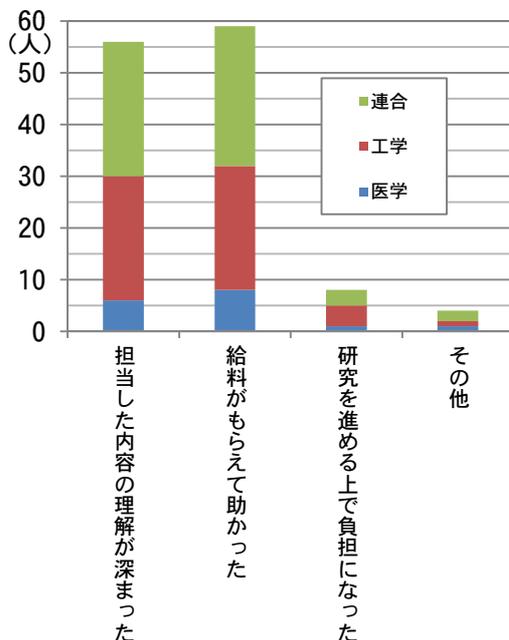
博士後期課程の学生を対象にRAの担当経験について尋ねたところ「担当したことがある」と回答した者は41.8%である。

経験者の感想では、「給料がもらえて助かった」が46.5%、「担当した内容の理解が深まった」が44.1%であり、有意義な点がある一方で、「研究を進める上で負担になった」とネガティブな回答をした者も6.3%いた。

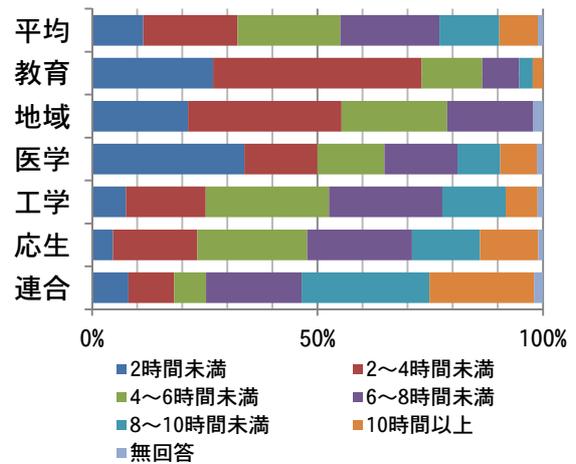
RAの担当経験



RAを担当した感想



20.9%、「8～10時間未満」が13.3%、「2時間未満」が11.4%、「10時間以上」が8.6%と続く。各研究科間では差があり、医学系研究科は、「2時間未満」と回答した者の割合が1番高く、33.8%である。工学研究科と応用生物科学研究科は「4～6時間未満」の回答が1番多く、27.4%及び24.4%であるが「6～8時間未満」の回答も25.2%および23.3%と多い。連合研究科は「8～10時間未満」の回答が1番多く28.3%である。工学研究科、応用生物科学研究科および連合研究科などでは実験に費やす時間が自ずと多くなることを反映しているのかもしれない。医学系研究科については、先述したとおり「入学時に就いていた仕事を続けたまま入学」した者が多く、仕事に割かねばならない時間が多いために研究に費やす時間が少ないのであろう。



(8) 研究に費やす時間

1日に費やす平均研究時間は、「4～6時間未満」と回答した者が全体で1番多く、22.8%である。以下、「6～8時間未満」が22%、「2～4時間未満」が

F 基盤的能力（学部生）

本学が掲げる基盤的能力

（意識して伸ばそうとしてきていない学生が多い）

本学では、「豊かな人間性」を形成するため、「考える力」「伝える力」「進める力」の3つの力から成る基盤的能力を掲げ学生を育成している。

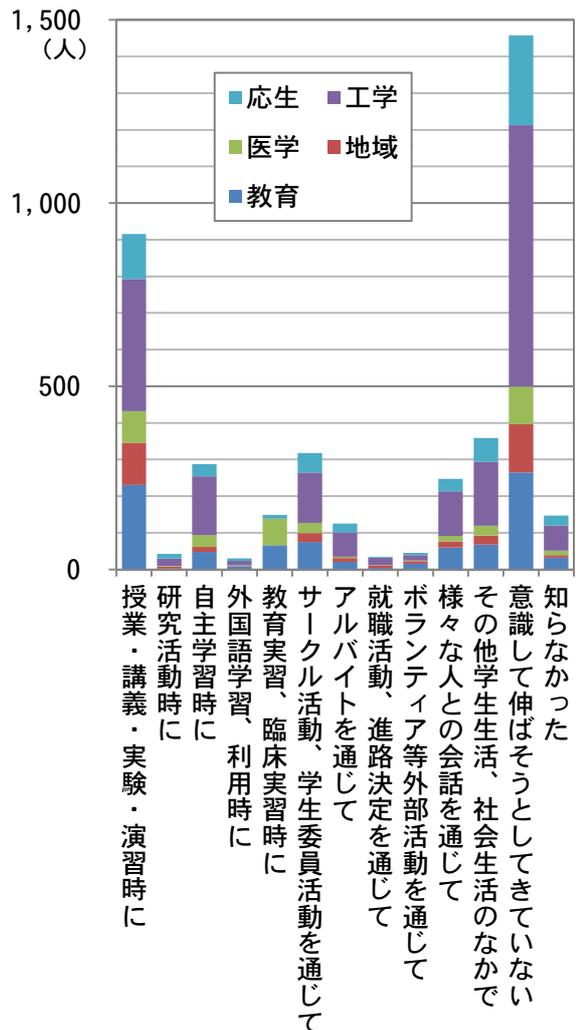
この3つの力は、下記の図のとおり、「考える力」を構成する課題発見力、創造的思考力、論理的思考力、「伝える力」を構成する発信力、傾聴力、状況把握力、及び「進める力」を構成する実行力、計画力、管理力の合計9つの要素である。

なお、基盤的能力に対する意識結果については、全学年の全ての学部の学生の集計結果であり、それ以外については、最終学年の学生（医学部と応用生物学部の一部については6年生、それ以外は4年生）の集計結果である。



基盤的能力に対する意識

本学が掲げる基盤的能力をどのよう
なときに意識して伸ばそうとしたか
について、「意識して伸ばそうとして
きていない」が35.1%と最も多く、次に
「授業・講義・実験・演習時に」が
22%、「その他学生生活、社会生活の
なかで」が8.6%と続き、「知らなかつ
た」も3.5%あった。



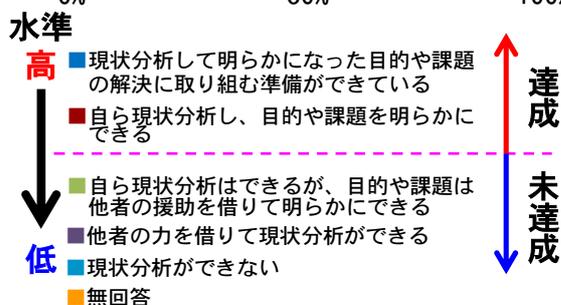
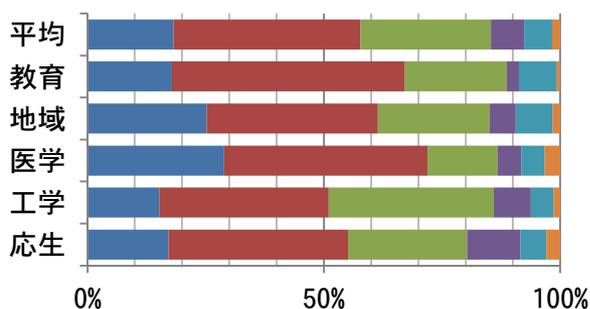
F 基盤的能力(学部生[最終学年])

学部生は傾聴力が高く、創造的思考力が低い
(3つの力の中では、伝える力が高く、進める力が低い)

(1) 考える力(課題発見力、創造的思考力、論理的思考力)

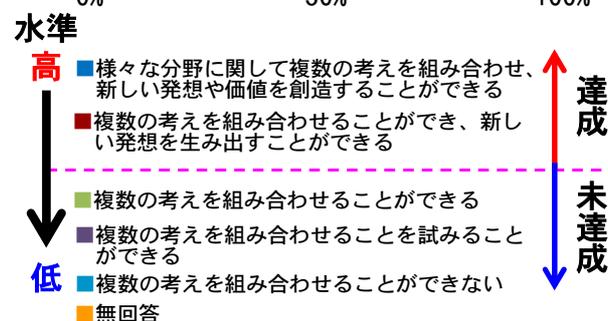
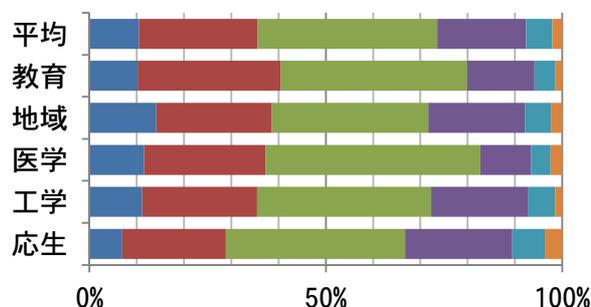
○ 課題発見力について

現状を分析し目的や課題を明らかにし準備する力である課題発見力については、本学が定める水準に達している最終学年の学部生は平均で57.8%である。各学部別でみると、達成度が高いのは71.9%の医学部、次いで67.2%の教育学部、61.4%の地域科学部となっている。一方、達成度が低いのは51%の工学部となっている。



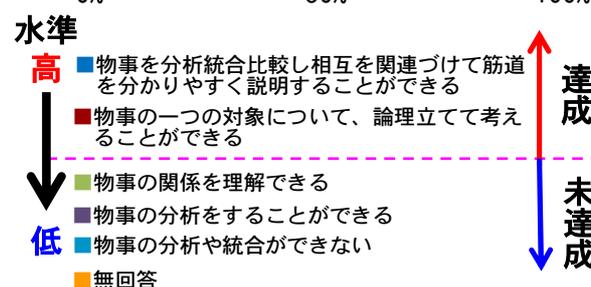
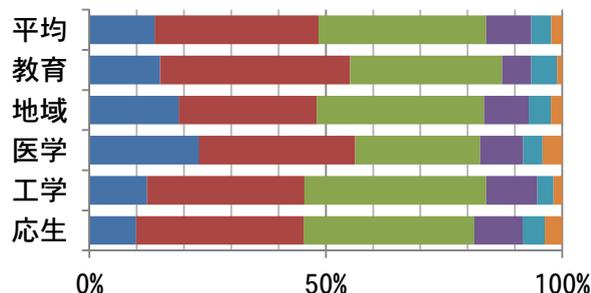
○ 創造的思考力について

複数の考えを組み合わせたり、従来の発想を転換し、新しい価値を生み出す力である創造的思考力については、本学が定める水準に達している最終学年の学部生は平均で35.6%であり、9つの要素のうち達成度が最も低い。各学部別でみると、達成度が高いのは40.5%の教育学部、次いで38.6%の地域科学部、37.2%の医学部となっている。一方、達成度の低いのは28.8%の応用生物科学部となっている。



○ 論理的思考力について

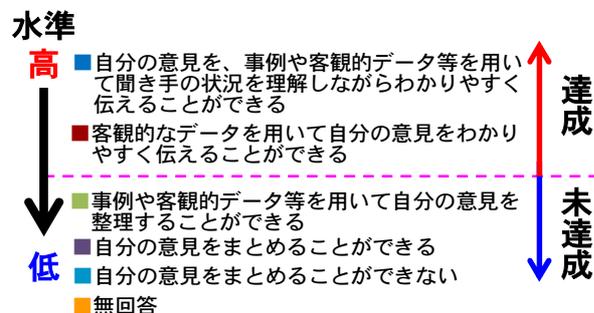
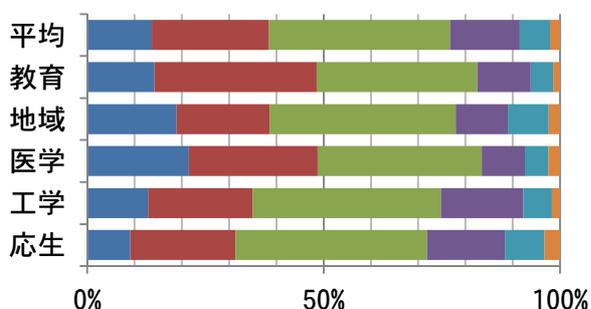
物事を分析、統合、比較し、相互を関連づけて、筋道を分かりやすくつなげる力である論理的思考力については、本学が定める水準に達している最終学年の学部生は平均で48.5%である。各学部別でみると、達成度が高いのは56.2%の医学部、次いで55.1%の教育学部となっている。



(2) 伝える力（発信力、傾聴力、状況把握力）

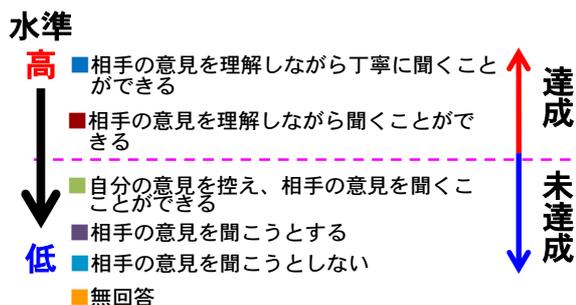
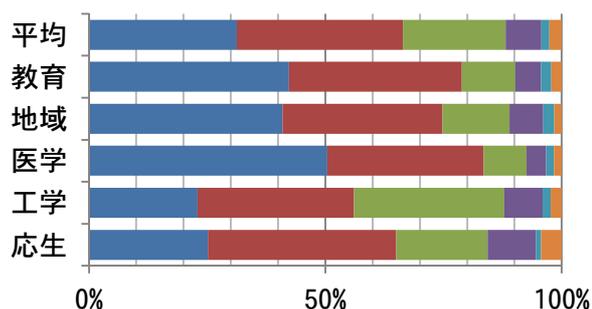
○ 発信力について

自分の意見を、事例や客観的データ等を用いて聞き手の状況を理解しながらわかりやすく伝える力である発信力については、本学が定める水準に達している最終学年の学部生は平均で38.5%である。各学部別でみると、達成度が最も高いのは48.8%の医学部、次いで48.5%の教育学部となっている。一方、達成度が低いのは31.4%の応用生物科学部、次いで35%の工学部となっている。



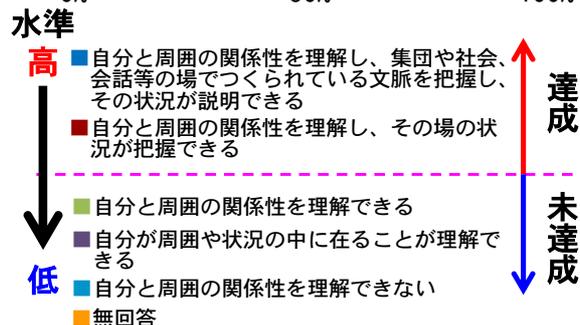
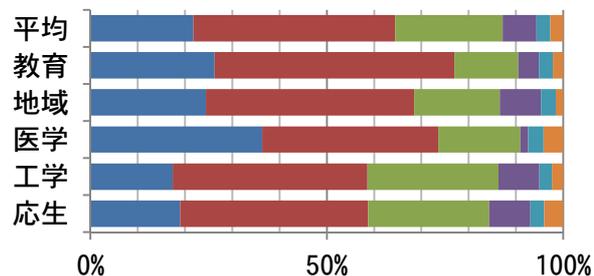
○ 傾聴力について

相手の意見を理解しながら丁寧に聞く力である傾聴力については、本学が定める水準に達している最終学年の学部生は平均で66.4%であり、9つの要素のうち達成度が最も高い。各学部別でみると、達成度が高いのは83.5%の医学部、次いで78.8%の教育学部、74.8%の地域科学部となっている。一方、達成度が低いのは56.1%の工学部、次いで65%の応用生物科学部となっており、最も達成度が高い医学部と最も達成度の低い工学部を比較すると27.4%の差がある。



○ 状況把握力について

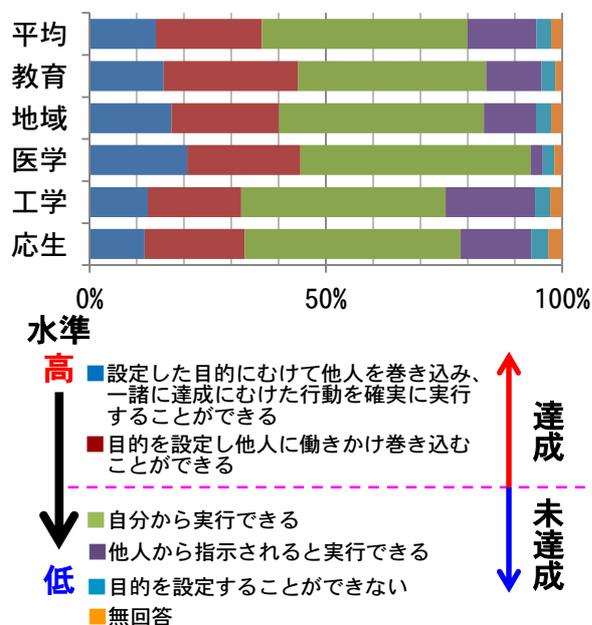
自分と周囲の関係性を理解し、集団や社会、会話等の場で作られている文脈を把握する力である状況把握力については、本学が定める水準に達している最終学年の学部生は平均で64.5%であり、9つの要素のうち傾聴力に次いで達成度が2番目に高い。各学部別でみると、達成度が高いのは77%の教育学部、次いで73.6%の医学部となっている。一方、達成度が低いのは58.6%の工学部、次いで58.8%の応用生物科学部となっている。



(3) 進める力（実行力、計画力、管理力）

○ 実行力について

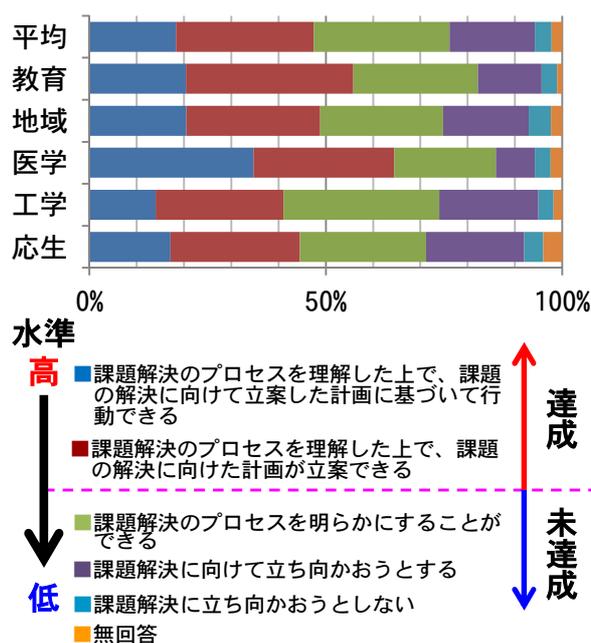
目的を設定し他者に働きかけ協同して実行することができる力である「実行力」については、本学が定める水準に達している最終学年の学部生は平均で36.5%であり、9つの要素の中で創造的思考力に次いで達成度が低い。各学部別にみると、達成度が高いのは44.6%の医学部、次いで44.2%の教育学部となっている。一方、達成度が低いのは32.1%の工学部、次いで32.8%の応用生物科学部となっている。



○ 計画力について

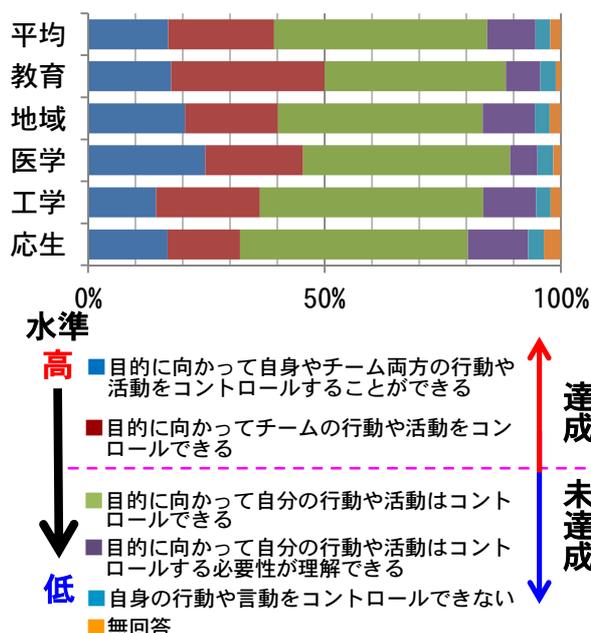
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力である計画力については、本学が定める水準に達している最終学年の学部生は平均で47.4%である。各学部別にみると、達成度が高いのは64.5%の医学部、次いで55.8%の教育学部となっている。

一方、達成度が低いのは41%の工学部、次いで44.5%の応用生物科学部となっている。



○ 管理力について

目的に向かって自身やチーム等の行動や活動をコントロールする力である管理力については、本学が定める水準に達している最終学年の学部生は平均で39.3%である。各学部別にみると、達成度が高いのは50%の教育学部、次いで45.5%の医学部となっている。一方、達成度が低いのは32.1%の応用生物科学部、次いで36.3%の工学部となっている。



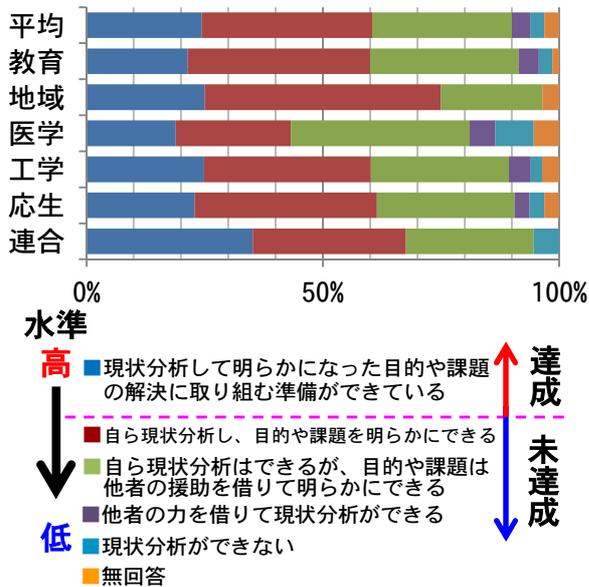
F 基盤的能力(院生[最終学年])

院生は傾聴力が高く、創造的思考力が低い
(3つの力の中では、伝える力が高く、考える力が低い)

(1) 考える力(課題発見力、創造的思考力、論理的思考力)

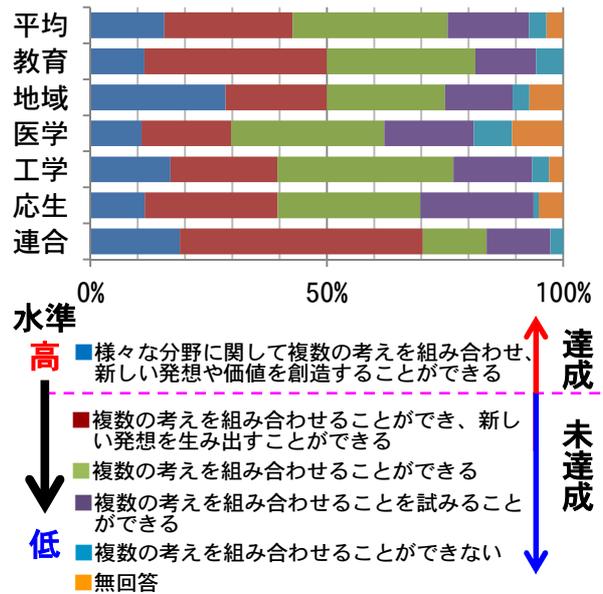
○ 課題発見力について

課題発見力については、本学が定める水準に達している最終学年の院生は平均で24.4%である。各研究科別で見ると、達成度が高いのは35.1%の連合研究科、次いで25%の地域科学研究科となっている。一方、達成度が低いのは18.9%の医学系研究科となっている。院生の達成水準は学部生に比べ達成度が低い結果となった。



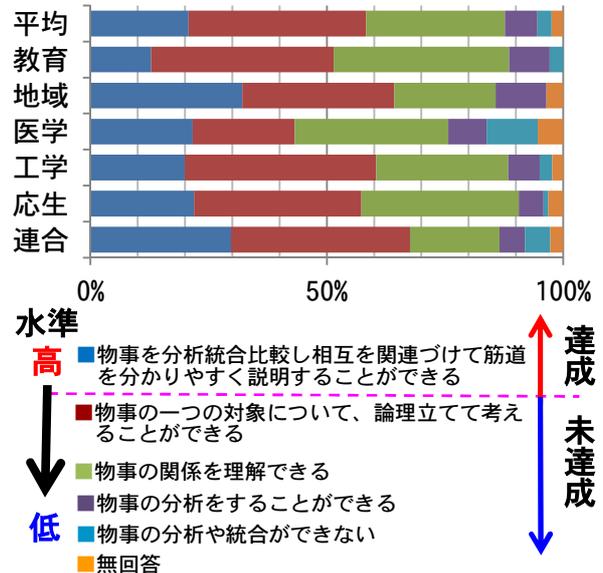
○ 創造的思考力について

創造的思考力については、本学が定める水準に達している最終学年の院生は平均で15.6%であり、基盤的能力の9つの要素のうち達成度が最も低い結果となった。各研究科別で見ると、達成度が高いのは28.6%の地域科学研究科、次いで18.9%の連合研究科となっている。一方、達成度が低いのは10.8%の医学系研究科となっている。



○ 論理的思考力について

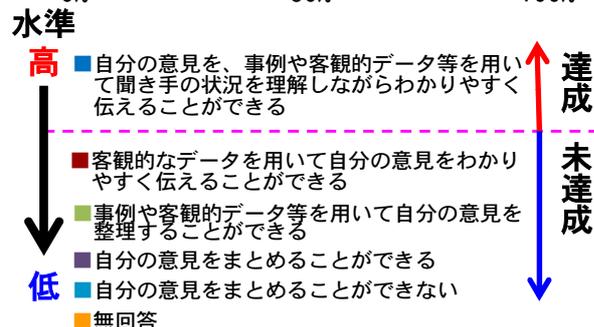
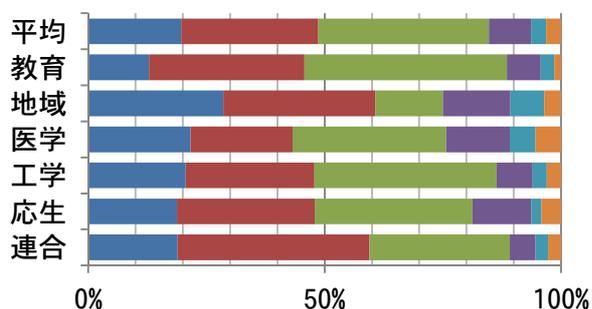
論理的思考力については、本学が定める水準に達している最終学年の院生は平均で20.7%である。各研究科別で見ると、達成度が高いのは32.1%の地域科学研究科、次いで29.7%の連合研究科となっている。



(2) 伝える力（発信力、傾聴力、状況把握力）

○ 発信力について

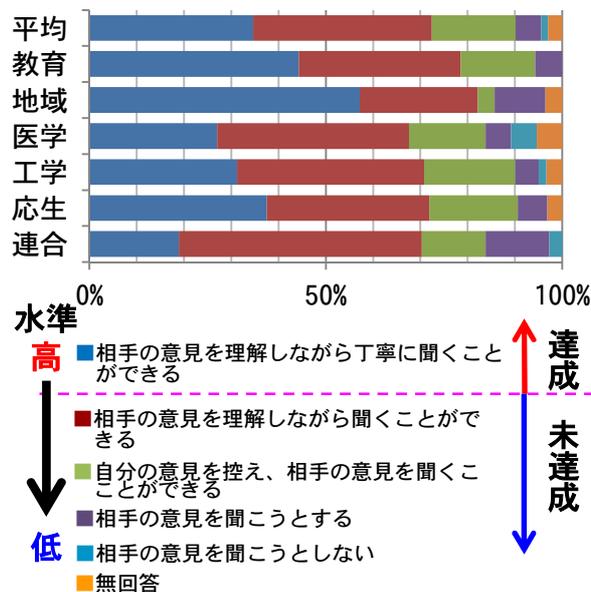
発信力については、本学が定める水準に達している最終学年の院生は平均で19.7%である。各研究科別でみると、達成度の高いのは28.6%の地域科学研究科、次いで21.6%の医学系研究科となっている。一方、達成度の低いのは12.9%の教育学研究科、次いで18.8%の応用生物科学研究科となっている。



○ 傾聴力について

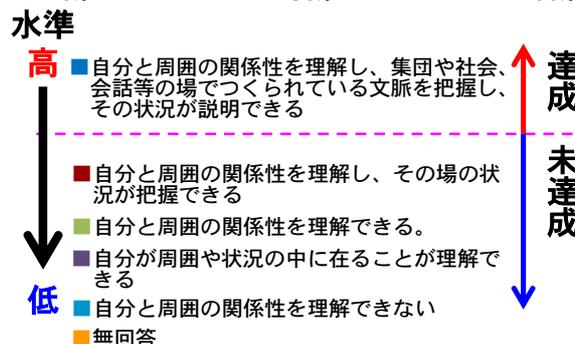
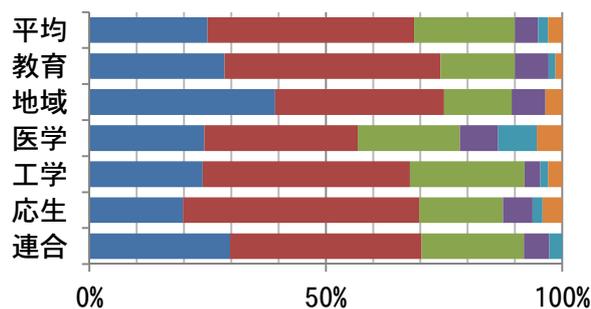
傾聴力については、本学が定める水準に達している最終学年の院生は平均で34.6%であり、基盤的能力の9つの要素のうち達成度が最も高い結果となった。しかしながら、達成度は学部生に比べ31.8%低い。

各研究科別でみると、達成度が高いのは57.1%の地域科学研究科、次いで44.3%の教育学研究科となっている。一方、達成度が低いのは18.9%の連合研究科となっており、最も達成度が高い地域科学研究科と比較して38.2%の差がある。これは学部生の傾向と同様であり、研究科間で達成度に差がある。



○ 状況把握力について

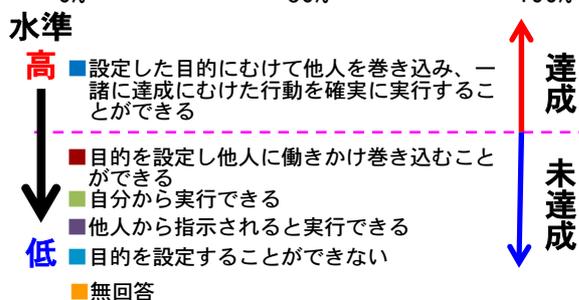
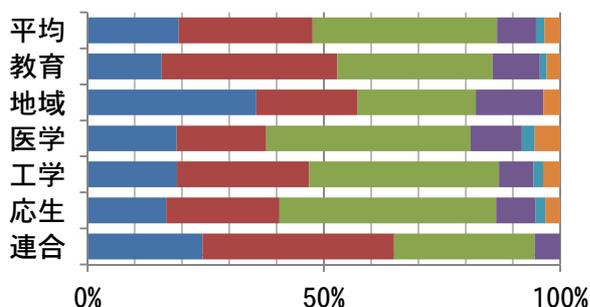
状況把握力については、本学が定める水準に達している最終学年の院生は平均で25%であり、学部生同様に9つの要素のうち達成度が2番目に高い。各研究科別でみると、達成度が高いのは39.3%の地域科学研究科、次いで29.7%の連合研究科となっている。一方、達成度が低いのは19.8%の応用生物科学研究科、次いで、23.9%の工学研究科となっている。



(3) 進める力（実行力、計画力、管理力）

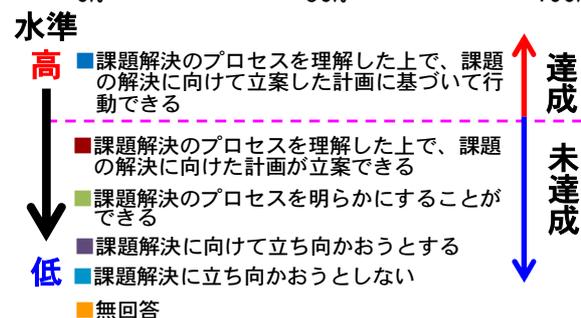
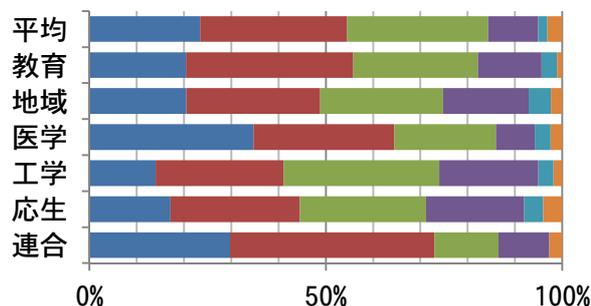
○ 実行力について

実行力については、本学が定める水準に達している最終学年の院生は平均で19.3%であり、学部生同様、9つの要素の中で創造的思考力に次いで達成度が低い結果となった。各研究科別で見ると、達成度が高いのは35.7%の地域科学研究科、次いで24.3%の連合研究科となっている。一方、達成度の最も低いのは15.7%の教育学研究科、次いで16.7%の応用生物科学研究科となっている。



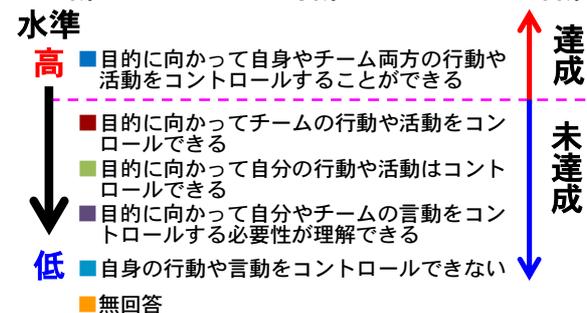
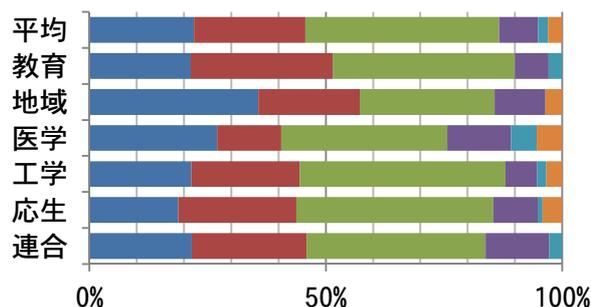
○ 計画力について

計画力については、本学が定める水準に達している最終学年の院生は平均で23.4%である。各研究科別で見ると、達成度が高いのは32.1%の地域科学研究科、次いで29.7%の連合研究科となっている。一方、達成度が低いのは20%の教育学研究科、次いで22.3%の工学研究科となっている。



○ 管理力について

管理力については、本学が定める水準に達している最終学年の院生は平均で22.1%である。各研究科別で見ると、達成度が高いのは35.7%の地域科学研究科、次いで27%の医学系研究科となっている。一方、達成度の最も低いのは18.8%の応用生物科学研究科、次いで21.4%の教育学研究科となっている。



G 課外活動等

7割の学生がサークル活動に参加

(アルハラの訴えは前回から減少せず)

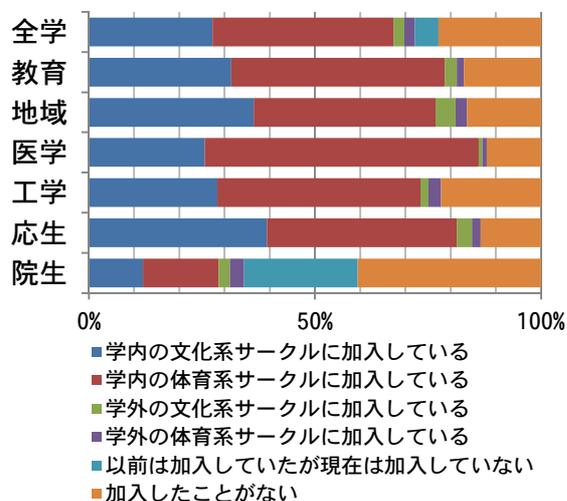
(1) 学内外のサークル加入状況

学生の約7割が学内サークルに加入しており、文化系と体育系の比率は約3:4となっている。学外サークルへ加入する学生は286人となっている。

また、サークルに加入したことがない学生は工学部と大学院に多い。

今回の結果は前回の調査とほとんど変化はなかった。やはりサークルは、仲間づくりにも人間関係を学ぶにも最適の場なので、こういう機会は貴重であると思われる。

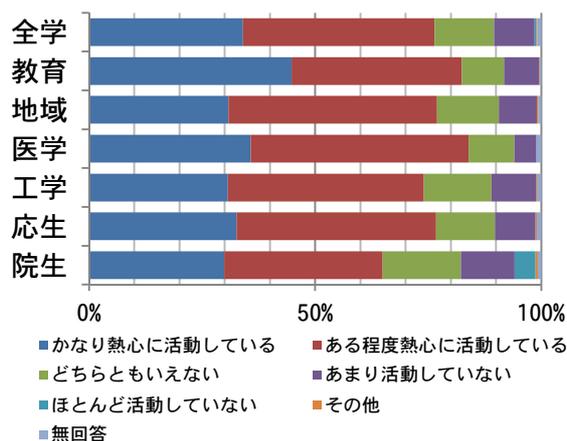
なお、加入の際には、勧誘を称した迷惑行為もあるので、注意が必要である。



(2) サークルでの活動状況

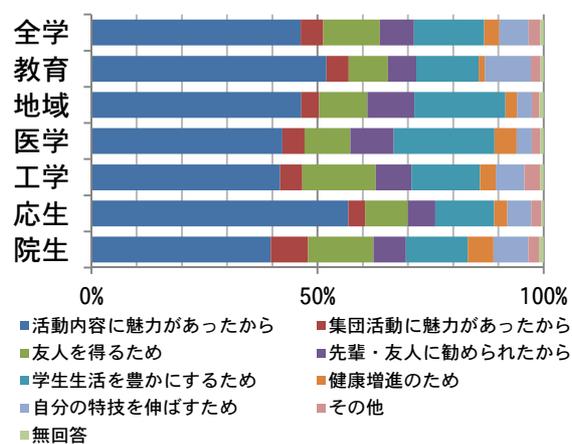
サークルに加入している学生の76.4%がサークル活動に熱心に取り組んでいると回答している。

なお、サークルに加入しているが、ほとんど活動していないのは大学院生に多い。



(3) サークルに加入した主な理由

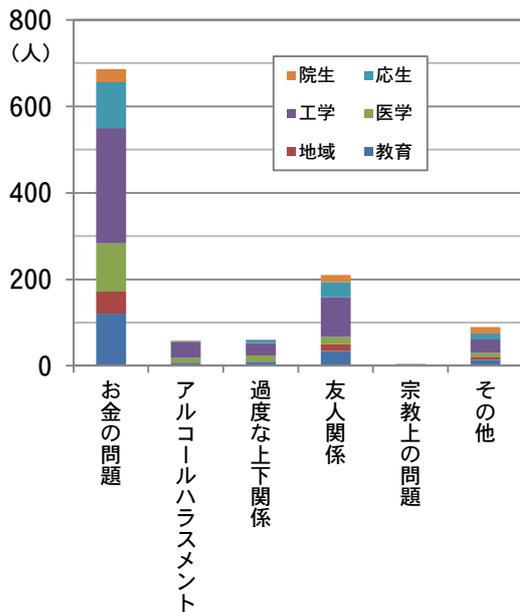
参加学生の約5割が「活動内容に魅力があったから」と答えている。



(4) サークルで困っていること

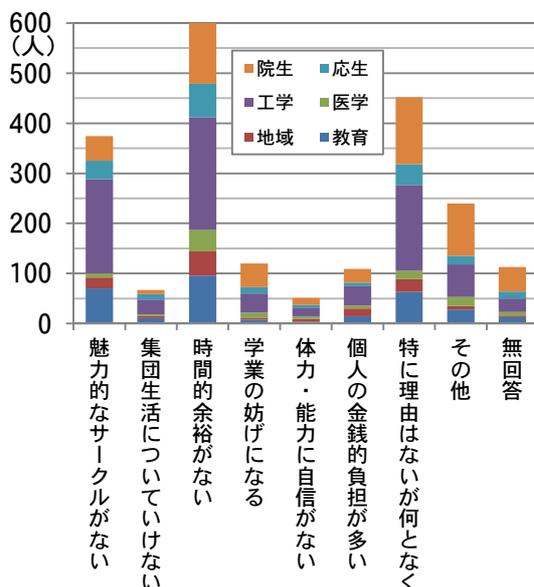
「お金の問題」と回答した学生は686人と前回の調査よりも増加している。人生の中でもとても重要な経験をしていると考えれば、多少の出費はやむを得ないだろう。「アルコールハラスメント」と回答した学生は59人と、これは看過できない値である。大学も啓発活動を行っているが、実態はいま

だ改善されていないことを示している。「過度の上下関係」と「友人関係」と回答した学生は合わせて271人いるが、これが否定的な結果とのみ理解するわけにはいかない。凝縮した人間関係ではこういうことが生じて当たり前であるからである。ただし、相談窓口を設けるなどの対策は必要であろう。



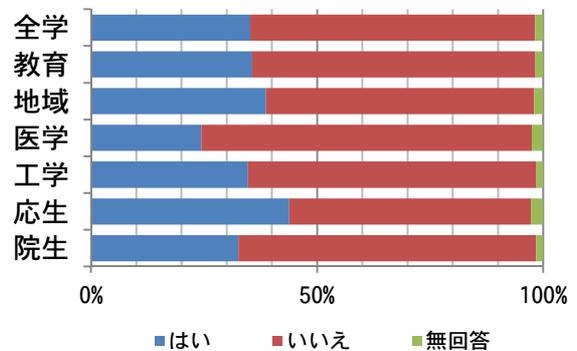
(5) サークルに加入しない理由

「時間的余裕がない」との理由が36%と最も多く、続いて「特に理由がない」19%、「魅力的なサークルがない」15.7%と続く。



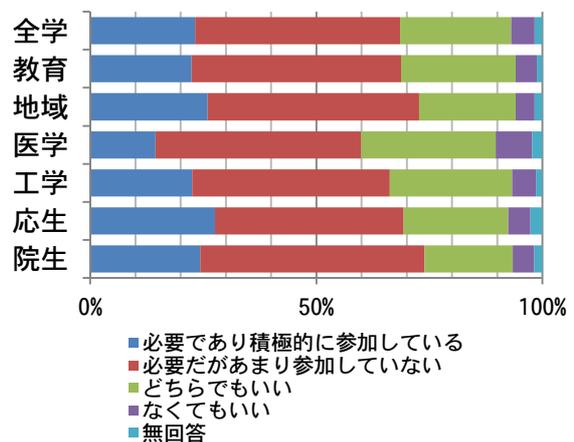
(6) 昨年の岐大祭に参加しましたか

昨年の岐大祭の参加者は35.2%にとどまる。前回の調査結果35.9%と変化はなかった。



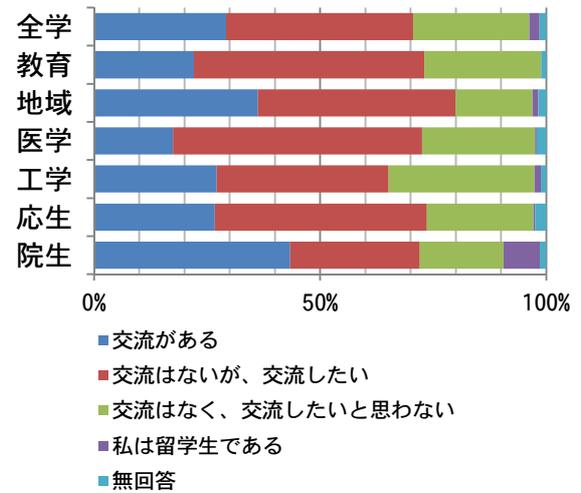
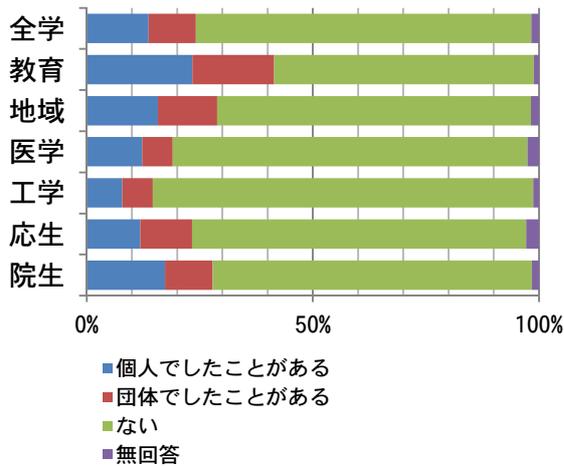
(7) 岐大祭や企業説明会などの学生行事について

学生行事に「必要であり積極的に参加している」学生は全体で23.2%である。しかし、「必要だがあまり参加していない」が45.3%、「どちらでもいい」が24.6%と多いことから、学生の興味が向く内容ではないことが浮き彫りとなった。



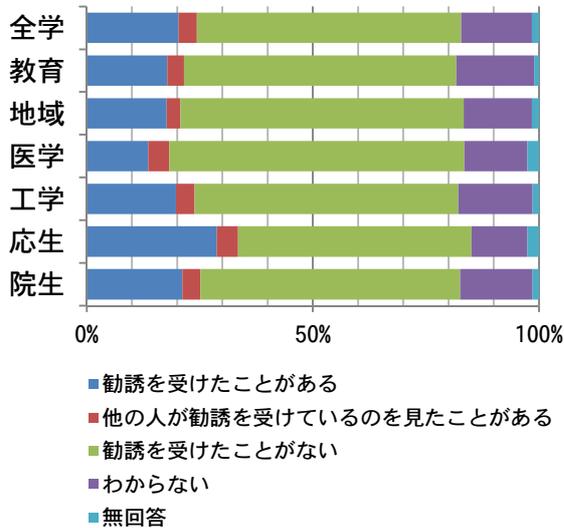
(8) 大学入学後のボランティア経験

大学入学後にボランティア活動をしたことがある学生は、個人、団体合わせて24.2%で、74.2%の学生は活動経験がないと回答した。教育学部の活動経験が高いことは前回の調査と同じ結果である。



(9) カルト宗教団体や自己啓発セミナーなどへの参加勧誘を受けたことがありますか

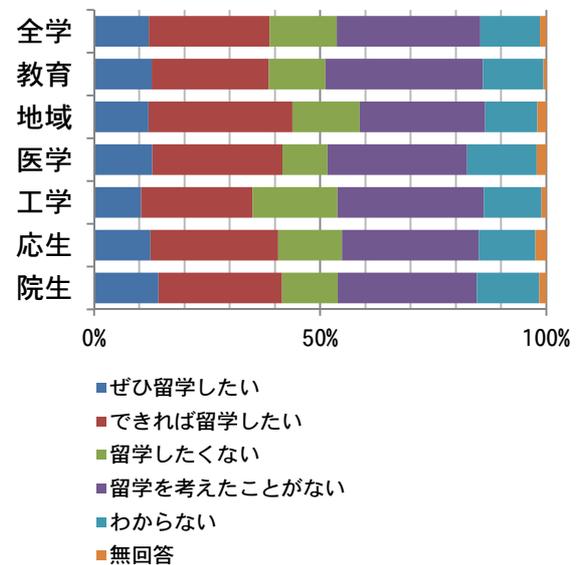
「勧誘を受けたことがある」学生は20.3%、「他の人が勧誘を受けているのを見たことがある」は4.1%と高い。キャンパス内における宗教活動の勧誘への対策を取る必要があるだろう。



(11) 海外留学を希望しますか

全体では、「ぜひ留学したい」と「できれば留学したい」を合わせて38.8%、「留学をしたくない」と「留学を考えたことがない」を合わせて46.6%である。

学部で見ると、留学を希望する学生の割合が多いのは医学部、少ないのは工学部である。



(10) 岐大の留学生と交流はありますか

地域科学部は留学生との交流経験が高く、医学部の経験が低い。一方、交流の希望は医学部が高く、工学部は希望者が少ない。

H 進路と就職

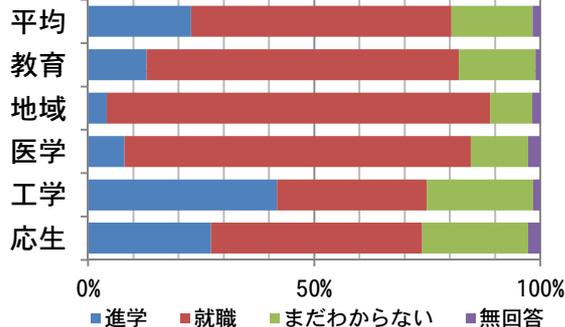
就職希望の学生が増加

(本学の就職セミナーを工夫する必要あり)

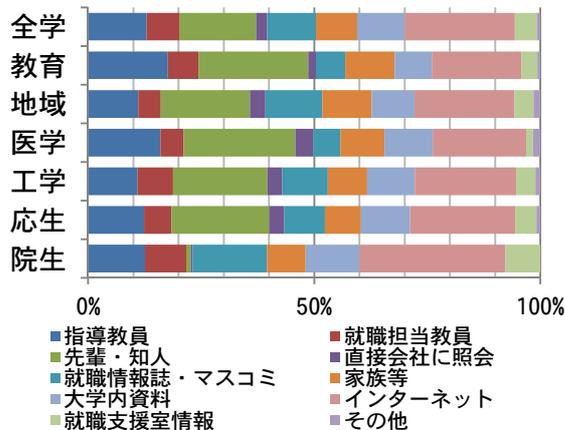
(1) 進路

10月時点の調査で、学生の進学希望が22.7%、就職希望が57.6%である。しかし、「まだわからない」が18%いる。昨今の不況下において、進路に迷っている様子が見てとれる。前回の調査では、進学希望が24.4%、就職希望が48.2%、まだわからないが20.9%であった。進路に関する情報入手手段は、インターネットが24.4%、先輩・知人が16.9%、指導教員が12.9%の順となっている。

進学か就職か（学部生）



進路に関する情報入手手段

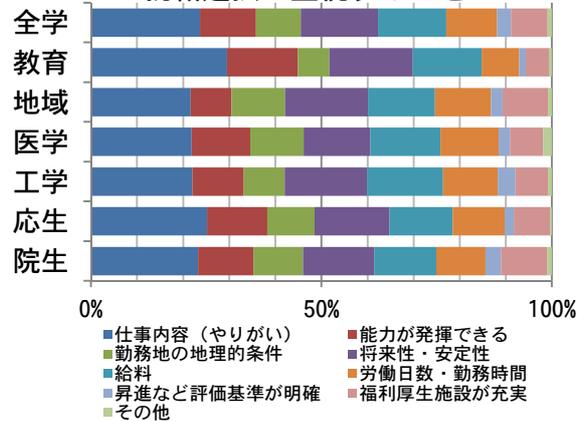


(2) 就職

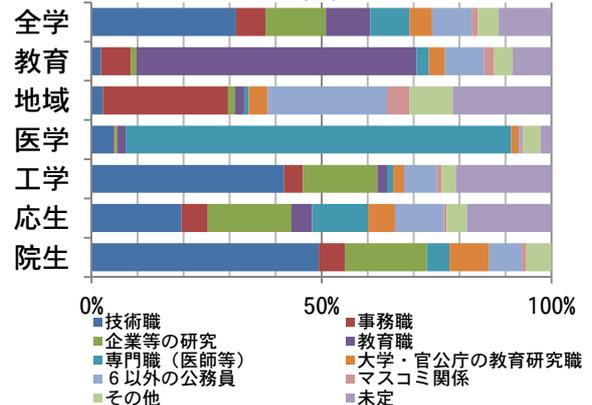
就職先の選択で重視することは、仕事内容（やりがい）が23.7%で最も高い。希望業種は、未定と回答した学生

は11.5%で前回の調査の20%よりも1割近く減少している。就職セミナーに関しては、参加する・時間があれば参加するが、合わせて61.1%である。一方、参加しないが20.2%で、前回の調査の9%より大幅に増加している。

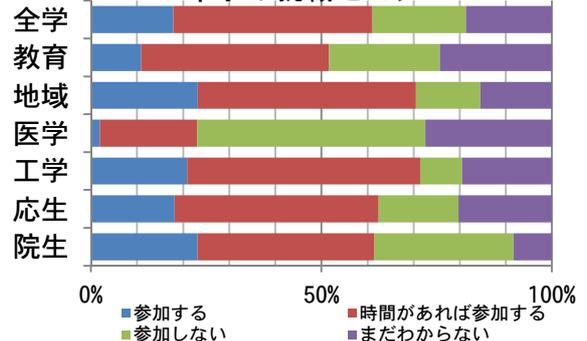
就職選択で重視すること



希望職種



本学の就職セミナー



2012年度学生生活実態調査 質問項目・集計結果

A. 所属について《学部生用》

1 【全員】性別はどちらですか。	回答数	割合
1. 男	3,178	/ 61.2%
2. 女	2,015	/ 38.8%
計	5,193	
2 【全員】学生身分はどちらですか。	回答数	割合
1. 留学生	93	/ 1.8%
2. 留学生以外	5,100	/ 98.2%
計	5,193	
3 【全員】所属学部はどこですか。	回答数	在籍数
1. 教育	1,061	/ 1078
2. 地域	458	/ 469
3. 医学(医)	197	/ 586
4. 医学(看)	324	/ 328
5. 工学	2,277	/ 2395
6. 応用	876	/ 886
計	5,193	
4 【医学部、工学部、応用生物科学部の方】学科はどこですか。	回答数	在籍数
1. 医学科	197	/ 586
2. 看護学科	324	/ 328
1. 社会基盤工学科	273	/ 298
2. 機械システム工学科	304	/ 304
3. 応用化学科	233	/ 248
4. 電気電子工学科	258	/ 277
5. 生命工学科	260	/ 260
6. 応用情報学科	188	/ 327
7. 機能材料工学科	258	/ 263
8. 人間情報システム工学科	233	/ 256
9. 数理解析工学科	141	/ 161
1. 応用生命科学課程(食品生命科学課程)	346	/ 346
2. 生産環境科学課程	342	/ 346
3. 獣医学課程	188	/ 194
無回答	129	
計	3,674	
5 【全員】何年生ですか。	回答数	割合
1. 1年生	1,288	/ 24.8%
2. 2年生	1,206	/ 23.2%
3. 3年生	1,311	/ 25.3%
4. 4年生	1,298	/ 25.0%
5. 5年生	47	/ 0.9%
6. 6年生	43	/ 0.8%
計	5,193	

A. 所属について《院生用》

1 【全員】性別はどちらですか。	回答数	割合
1. 男	896	/ 73.7%
2. 女	320	/ 26.3%
計	1,216	
2 【全員】学生身分はどちらですか。	回答数	割合
1. 留学生	179	/ 14.7%
2. 留学生以外	1,037	/ 85.3%
計	1,216	
3 【全員】所属研究科はどこですか。	回答数	在籍数
1. 教育学研究科	134	/ 139
2. 地域科学研究科	47	/ 50
3. 医学系研究科	74	/ 246
4. 工学研究科	668	/ 738
5. 応用生物科学研究科	193	/ 203
7. 連合農学研究科	37	/ 90
8. 連合獣医学研究科	53	/ 117
9. 連合創薬医療情報研究科	9	/ 21
無回答	1	
計	1,216	
4 【全員】課程はどちらですか。	回答数	在籍数
1. 博士前期課程(修士課程)	1,014	/ 1085
2. 博士後期課程(博士課程)	201	/ 519
無回答	1	
計	1,216	
5 【全員】何年生ですか。	回答数	割合
1. 1年生	590	/ 48.5%
2. 2年生	547	/ 45.0%
3. 3年生	52	/ 4.3%
4. 4年生	26	/ 2.1%
無回答	1	/ 0.1%
計	1,216	

B. 通学・住居について《学部生・院生共通》

6 【全員】あなたの主な通学方法はどれですか。	件数	割合
1. 徒歩	229	/ 3.6%
2. 自転車	2,402	/ 37.5%
3. バイク	251	/ 3.9%
4. 電車・バス	2,187	/ 34.1%
5. 自動車	1,332	/ 20.8%
無回答	8	/ 0.1%
計	6,409	

7 【全員】通学時間はどれくらいですか。	件数	割合
1. 15分未満	2,444	/ 38.1%
2. 15～30分未満	722	/ 11.3%
3. 30分～1時間未満	762	/ 11.9%
4. 1～1時間30分未満	1,020	/ 15.9%
5. 1時間30分～2時間未満	1,054	/ 16.5%
6. 2時間以上	404	/ 6.3%
無回答	3	/ 0.1%
計	6,409	
8 【全員】通学中に交通事故にあった、または、起こしたことがありますか。	件数	割合
1. ある	428	/ 6.7%
2. ない	5,959	/ 93.0%
無回答	22	/ 0.3%
計	6,409	
9 【全員】あなたの住居はどれですか。	件数	割合
1. 自宅	3,562	/ 55.6%
2. アパート・マンション	2,135	/ 33.3%
3. 学生寮	250	/ 3.9%
4. 間借り(下宿)	352	/ 5.5%
5. 親戚・知人宅	49	/ 0.8%
6. 国際交流会館	43	/ 0.7%
7. その他	11	/ 0.2%
無回答	7	/ 0.1%
計	6,409	
10 【問9で2～5を選んだ方】1ヶ月の家賃はいくらですか。(光熱水料を除く)	件数	割合
1. 3万円未満	673	/ 24.2%
2. 3～4万円未満	1,004	/ 36.1%
3. 4～5万円未満	710	/ 25.6%
4. 5～6万円未満	296	/ 10.7%
5. 6～7万円未満	59	/ 2.1%
6. 7～8万円未満	13	/ 0.5%
7. 8万円以上	23	/ 0.8%
無回答	8	割合計算外
計	2,786	
11 【問9で2～5を選んだ方】現在の住居に満足していますか。	件数	割合
1. 満足している	1,241	/ 45.0%
2. やや満足している	937	/ 34.0%
3. どちらともいえない	304	/ 11.0%
4. やや不満足である	210	/ 7.6%
5. 不満足である	65	/ 2.4%
無回答	29	割合計算外
計	2,786	

C. 収入・支出について《学部生・院生共通》

12 【問11で4～5を選んだ方】その理由はどれですか。(複数回答可)	件数	割合
1. 狭い	217	/ 27.4%
2. 家賃が高い	100	/ 12.6%
3. 通学に不便	60	/ 7.6%
4. 日常生活に不便	132	/ 16.7%
5. まわりの環境がよい	174	/ 21.9%
6. その他	110	/ 13.9%
13 【全員】あなたの家庭の年収(税込み)はどれくらいですか。	件数	割合
1. 250万円未満	526	/ 8.2%
2. 250～500万円未満	1,033	/ 16.1%
3. 500～750万円未満	1,103	/ 17.2%
4. 750～1,000万円未満	812	/ 12.7%
5. 1,000～1,500万円未満	342	/ 5.3%
6. 1,500万円以上	83	/ 1.3%
7. わからない	2,466	/ 38.5%
無回答	44	/ 0.7%
計	6,409	
14 【全員】あなたの1ヶ月の平均必要経費はいくらぐらいですか。(授業料は除く)	件数	割合
1. 3万円未満	1,677	/ 26.2%
2. 3～5万円未満	2,391	/ 37.3%
3. 5～10万円未満	1,792	/ 28.0%
4. 10～15万円未満	407	/ 6.4%
5. 15～20万円未満	70	/ 1.1%
6. 20～25万円未満	20	/ 0.3%
7. 25～30万円未満	10	/ 0.2%
8. 30万円以上	19	/ 0.3%
無回答	23	/ 0.4%
計	6,409	
15 【全員】1ヶ月の平均の食費はどれくらいですか。	件数	割合
1. 2万円未満	3,223	/ 50.3%
2. 2～3万円未満	2,322	/ 36.2%
3. 3～4万円未満	581	/ 9.1%
4. 4～5万円未満	163	/ 2.5%
5. 5～7万円未満	50	/ 0.8%
6. 7万円以上	35	/ 0.6%
無回答	35	/ 0.6%
計	6,409	
16 【携帯電話を持っている方】携帯電話関連で1ヶ月にかかる費用はどれくらいですか。	件数	割合
1. 5,000円未満	1,003	/ 15.7%
2. 5,000円～1万円未満	4,490	/ 70.1%
3. 1～1.5万円未満	513	/ 8.0%
4. 1.5～2万円未満	48	/ 0.8%
5. 2万円以上	15	/ 0.2%
6. わからない	317	/ 5.0%
無回答	23	/ 0.4%
計	6,409	

2012年度学生生活実態調査 質問項目・集計結果

17【全員】現在の経済状況を選んでください。	件数	割合	28【全員】学生食堂について感じていることはどれですか。〈複数回答可〉	件数	割合
1. ゆとりがある	530	8.3%	1. メニューが豊富	461	5.1%
2. 普通(あまり不自由を感じない)	3,449	53.8%	2. メニューが少ない	2,094	23.1%
3. やや苦しい(奨学金または軽度のアルバイトで充足できる)	1,813	28.3%	3. 比較的低価格	694	7.6%
4. 大変苦しい(定期的なアルバイトが必要である)	598	9.3%	4. 低価格といえない	3,304	36.4%
無回答	19	0.3%	5. 価格の割に質がよい	228	2.5%
計	6,409		6. 価格相応の質	826	9.1%
18【全員】奨学金を受けていますか。	件数	割合	7. 特にならない	1,046	11.5%
1. 現在受けている	2,128	33.2%	8. その他	432	4.7%
2. 現在受けていないが、受けたい	835	13.0%	29【全員】学生相談室を利用したことがありますか。	件数	割合
3. 現在受けていないし、希望もしない	3,414	53.3%	1. 利用したことがある	239	3.7%
無回答	32	0.5%	2. 学生相談室があるのは知っていたが、利用したことがない	3,910	61.0%
計	6,409		3. 学生相談室があるのを知らない	2,221	34.7%
19【全員】授業料免除を希望しますか。	件数	割合	無回答	39	0.6%
1. 現在免除されており、次回も申請する	660	10.3%	計	6,409	
2. 現在免除されているが、次は希望しない	30	0.5%	30【全員】あなたは、これまでに迷惑行為を受けたことがありますか。	件数	割合
3. 現在免除されていないが、次回は希望する	1,174	18.3%	〈複数回答可〉		
4. 現在免除されていないし、希望もしない	4,509	70.4%	1. 受けたことはない	5,881	91.8%
無回答	36	0.6%	2. 悪徳商法に引っかかった	48	0.8%
計	6,409		3. いたずら電話を受けた	151	2.4%
20【全員】現在アルバイトをしていますか。週間の平均従事日数は何日ですか。	件数	割合	4. ストーカーにあった	67	1.1%
1. アルバイトをしていない	2,044	31.9%	5. 大学内でセクハラを受けた	18	0.3%
2. 1日	580	9.1%	6. 大学内でアカハラを受けた	38	0.6%
3. 2日	1,168	18.2%	7. その他(具体的内容を書いてください)	185	2.9%
4. 3日	1,477	23.1%	無回答	21	0.3%
5. 4日	832	13.0%	計	6,409	
6. 5日以上	297	4.6%	31【問30で7を選んだ方】具体的に記入ください。	件数	割合
無回答	11	0.2%	1. 宗教勧誘	53	28.7%
計	6,409		2. サークル勧誘	12	6.5%
21【問20で2～6を選んだ方】1週間の従事時間は合計何時間ですか。	件数	割合	3. 盗難	29	15.7%
1. 5時間未満	636	14.6%	4. 喫煙・飲酒	14	7.6%
2. 5～10時間未満	1,166	26.8%	5. メール	5	2.7%
3. 10～15時間未満	1,037	23.8%	6. 寮	12	6.5%
4. 15～20時間未満	859	19.7%	7. パワハラ、痴漢	14	7.6%
5. 20～25時間未満	434	10.0%	8. ルール、マナー	46	24.9%
6. 25時間以上	204	4.7%	計	185	
無回答	18	0.4%	32【問30で5を選んだ方】誰に相談しましたか。	件数	割合
計	4,354		1. 友人	7	41.2%
22【問20で2～6を選んだ方】アルバイトによって勉学に支障をきたしていませんか。	件数	割合	2. 家族	2	11.8%
1. 支障をきたしていません	3,674	84.4%	3. ハラスメント相談員	0	0.0%
2. 支障をきたしている	604	13.9%	4. 教員	1	5.9%
無回答	76	1.8%	5. 学生相談室	0	0.0%
計	4,354		6. その他	0	0.0%
23【問20で2～6を選んだ方】アルバイトの主な目的は何ですか。〈複数回答可〉	件数	割合	7. 誰にも相談しない	7	41.2%
1. 生活費や学費のため	2,549	26.8%	無回答	1	割合計算外
2. レジャーや旅行のため	1,690	17.8%	計	18	
3. 娯楽・嗜好品等のため	2,518	26.5%	33【問30で6を選んだ方】誰に相談しましたか。	件数	割合
4. 高額商品購入のため	341	3.6%	1. 友人	13	36.1%
5. 課外活動費のため	626	6.6%	2. 家族	2	5.6%
6. 社会経験のため	1,559	16.4%	3. ハラスメント相談員	1	2.8%
7. その他	232	2.4%	4. 教員	2	5.6%
24【問20で2～6を選んだ方】どのようなアルバイトをしていますか。〈複数回答可〉	件数	割合	5. 学生相談室	4	11.1%
1. 家庭教師・塾講師等	1,471	26.8%	6. その他	6	16.6%
2. 会場設営・撤収、搬入搬出	83	1.5%	7. 誰にも相談しない	8	22.2%
3. 受付・接客	943	17.2%	無回答	2	割合計算外
4. イベントスタッフ補助	156	2.9%	計	38	
5. 商品販売	562	10.3%	34【全員】図書館について感じていることはどれですか。〈複数回答可〉	件数	割合
6. 商品等整理・包装	186	3.4%	1. 蔵書の種類や数が豊富	1,759	15.9%
7. コンビニ・飲食店等手強い	1,597	29.1%	2. 蔵書の種類や数が不十分	1,068	9.7%
8. 駐車場整理員	0	0.0%	3. 貸出・返却が容易	1,593	14.4%
9. 引越スタッフ	19	0.4%	4. 貸出・返却が容易でない	161	1.5%
10. その他	465	8.5%	5. 館内の案内が充実している	301	2.7%
25【問20で2～6を選んだ方】アルバイトによる平均月収はいくらぐらいですか。	件数	割合	6. 館内の案内が不十分	479	4.3%
1. 3万円未満	1,054	24.2%	7. 図書館員がフレンドリー	127	1.2%
2. 3～5万円未満	1,617	37.1%	8. 図書館員に尋ねにくい	484	4.4%
3. 5～7万円未満	952	21.9%	9. コピーが取りやすい	115	1.0%
4. 7～10万円未満	510	11.7%	10. コピーが取りにくい	717	6.5%
5. 10～15万円未満	103	2.4%	11. 開館時間が短い	1,003	9.1%
6. 15万円以上	23	0.5%	12. 特にならない	2,006	18.2%
無回答	95	2.2%	13. 資料の検索が容易	473	4.3%
計	4,354		14. 資料の検索が容易でない	532	4.8%
26【問20で2～6を選んだ方】アルバイトでトラブルを経験したことがありますか。どのようなトラブルですか。〈複数回答可〉	件数	割合	15. その他	230	2.1%
1. ない	3,574	81.1%	35【全員】大学の施設で気になることがありますか。〈複数回答可〉	件数	割合
2. 給料の不払い	74	1.7%	1. 冷暖房が不十分	1,076	10.0%
3. 契約より給料が低かった	68	1.5%	2. 机・椅子がよくない	1,602	14.8%
4. 客とのトラブル	318	7.2%	3. 教室の設備が不十分	610	5.6%
5. 解雇	24	0.5%	4. 建物が古い	1,796	16.6%
6. 雇用者との意見の不一致	182	4.1%	5. 建物内が暗い	1,261	11.7%
7. 事故・ケガ	76	1.7%	6. 駐輪場が少ない	1,007	9.3%
8. その他	91	2.1%	7. 駐車場が少ない	1,072	9.9%
D. 学生生活について《学部生・院生共通》			8. 植栽の手入れが不十分	247	2.3%
27【全員】昼食は主にどこを利用していますか。	件数	割合	9. 特にならない	1,919	17.8%
1. 生協第1食堂	1,299	20.3%	10. その他	218	2.0%
2. 生協第2食堂	960	15.0%	36【全員】大学事務室の対応に満足していますか。	件数	割合
3. 生協医学部食堂	234	3.7%	1. 満足している	1,099	17.2%
4. 生協PECO(弁当等購入)	1,080	16.9%	2. やや満足している	1,444	22.5%
5. 生協ルポ(ラーメン)	58	0.9%	3. どちらともいえない	2,583	40.3%
6. コンビニ(弁当等購入)	582	9.1%	4. やや不満足である	756	11.8%
7. 弁当持参	1,428	22.3%	5. 不満足である	489	7.6%
8. 自宅	367	5.7%	無回答	38	0.6%
9. その他	320	5.0%	計	6,409	
10. 昼食を食べない	59	0.9%			
無回答	22	0.3%			
計	6,409				

2012年度学生生活実態調査 質問項目・集計結果

37 【全員】あなたは、大学生活で何を第1においた生活をしていますか。	件数	割合	48 【全員】1日平均何時間ぐらい授業の予習・復習をしていますか。	件数	割合
1. 勉強や研究	2,746	42.9%	1. 1時間未満	3,426	66.0%
2. 部活・サークル活動	735	11.5%	2. 1～2時間未満	1,396	26.9%
3. 趣味・娯楽	513	8.0%	3. 2～3時間未満	255	4.9%
4. 豊かな人間関係を結ぶこと	1,032	16.1%	4. 3～4時間未満	41	0.8%
5. 将来を考えた資格等の取得	218	3.4%	5. 4～5時間未満	18	0.4%
6. アルバイト	62	1.0%	6. 5時間以上	17	0.3%
7. 特に重点もなくほどほどに	821	12.8%	無回答	40	0.8%
8. ただ何となく	177	2.8%	計	5,193	
9. その他	80	1.3%			
無回答	25	0.4%	49 【全員】オフィスアワー(学習相談時間)を利用したことがありますか。	件数	割合
計	6,409		1. 利用したことがある	376	7.2%
38 【全員】大学のICT環境(情報・通信技術環境)に満足していますか。	件数	割合	2. オフィスアワーがあることは知っているが、利用したことはない	1,162	22.4%
1. 満足している	4,309	67.2%	3. オフィスアワーがない	159	3.1%
2. 満足していない	2,063	32.2%	4. オフィスアワーについて知らない	3,464	66.7%
無回答	37	0.6%	無回答	32	0.6%
計	6,409		計	5,193	
39 【問38で2を選んだ方】満足していないのは、どの環境ですか。	件数	割合	50 【問49で2を選んだ方】オフィスアワーを利用しない主な理由は何ですか。	件数	割合
1. 学内LAN	423	20.5%	1. 講義内容を充分理解できるのでその必要がない	242	21.0%
2. 情報コンセント	25	1.2%	2. オフィスアワーの時間が短く利用しにくい	87	7.6%
3. 無線LAN	604	29.3%	3. オフィスアワーの時間以外にいつでも訪問できる	98	8.5%
4. 利用可能なパソコン台数	251	12.2%	4. 教員に相談するのが面倒である	325	28.2%
5. HPの情報量	23	1.1%	5. どのように質問してよいかわからない	286	24.8%
6. AIMSの使いやすさ	569	27.6%	6. その他	115	10.0%
7. その他	159	7.7%	無回答	9	割合計算外
無回答	9	0.4%	計	1,162	
計	2,063				
40 【全員】あなたは、岐阜大学が「キャンパス内全面禁煙」を宣言していることを知っていますか。	件数	割合	51 【全員】シラバスで授業目的・内容・レベル、また、成績評価の方法、履修の留意点などよく理解できましたか。	件数	割合
1. 知っている	6,028	94.1%	1. すべて理解できた	2,104	40.5%
2. 知らない	302	4.7%	2. よく理解できなかった内容がある	1,790	34.5%
無回答	79	1.2%	3. シラバスをほとんど読まなかった	1,263	24.3%
計	6,409		無回答	36	0.7%
			計	5,193	
E. 修学状況について《学部生用》			52 【問51で2を選んだ方】理解できなかったのは、どの内容ですか。(複数回答可)	件数	割合
41 【全員】あなたが本学を選んだ主な理由は何ですか。(複数回答可)	件数	割合	1. 授業目的・内容・レベル	967	48.7%
1. 地元の大学だから	2,103	21.2%	2. 成績評価の方法	709	35.7%
2. 希望する学部・学科があったから	2,531	25.5%	3. 履修の留意点	311	15.7%
3. 高校の進路指導による	646	6.5%			
4. 親や親戚に勧められたから	340	3.4%	53 【全員】シラバスの変更等があった場合の注意はきちんととされていましたか。	件数	割合
5. 先輩や友人に勧められて	67	0.7%	1. 注意の十分な説明があった	850	16.4%
6. 就職等将来を考慮して	561	5.7%	2. 簡単な注意があった	2,626	50.6%
7. 国立大学だから	3,007	30.3%	3. 注意はなかった	697	13.4%
8. ただ何となく	373	3.8%	4. シラバスの変更等がなかった	965	18.6%
9. その他	301	3.0%	無回答	55	1.1%
			計	5,193	
42 【全員】所属している学部・学科に満足していますか。	件数	割合	54 【全員】大学の自主的学習環境の整備状況に満足していますか。	件数	割合
1. 満足している	1,881	36.2%	1. 満足している	3,845	74.0%
2. やや満足している	1,815	35.0%	2. 満足していない	1,306	25.2%
3. どちらともいえない	943	18.2%	無回答	42	0.8%
4. やや不満足である	351	6.8%	計	5,193	
5. 不満足である	166	3.2%			
無回答	37	0.7%	55 【問54で2を選んだ方】満足していないのは、どの環境ですか。	件数	割合
計	5,193		1. 自習室	794	61.1%
			2. グループ討議室	66	5.1%
43 【全員】これまでの単位取得状況はどうですか。	件数	割合	3. 情報機器室	117	9.0%
1. 全部取得できた	1,639	31.6%	4. 教育設備の授業時間外使用	251	19.3%
2. ほとんど取得できた	2,473	47.6%	5. その他	72	5.5%
3. 3/4程度取得できた	616	11.9%	無回答	6	割合計算外
4. 半分程度取得できた	182	3.5%	計	1,306	
5. あまり取得できなかった	187	3.6%			
6. 全く取得できなかった	35	0.7%	56 【全員】履修ガイダンスに参加しましたか。	件数	割合
無回答	61	1.1%	1. 参加した	4,357	83.9%
計	5,193		2. 参加しなかった	789	15.2%
			無回答	47	0.9%
			計	5,193	
44 【全員】授業への出席状況はどうですか。	件数	割合	57 【問56で1を選んだ方】ガイダンスの内容は理解できましたか。	件数	割合
1. 全部出席している	1,402	27.0%	1. よく理解できた	3,057	70.2%
2. ほとんど出席している	2,913	56.1%	2. 一部理解できなかった	1,197	27.5%
3. 3/4程度出席している	675	13.0%	3. 理解できなかった	76	1.7%
4. 半分程度出席している	124	2.4%	無回答	27	0.6%
5. ほとんど出席していない	36	0.7%	計	4,357	
6. 全く出席していない	10	0.2%			
無回答	33	0.6%	58 【全員】貴方が所属する学部の教育研究上の目的を知っていますか。	件数	割合
計	5,193		1. 知っている	2,059	39.7%
			2. 知らない	3,100	59.7%
45 【問44で4～6を選んだ方】授業を欠席する理由は何ですか。(複数回答可)	件数	割合	無回答	34	0.6%
1. 勉学の意欲がわかない	266	22.9%	計	5,193	
2. 授業に魅力がない	363	31.3%			
3. 授業が理解できない	121	10.4%	59 【問58で1を選んだ方】教育研究上の目的をどこで知りましたか。	件数	割合
4. その他	411	35.4%	1. 大学HPで	1,894	92.5%
			2. その他	153	7.5%
			無回答	12	割合計算外
			計	2,059	
46 【全員】受講している授業に満足していますか。	件数	割合	60 【問59で2を選んだ方】知った場所等を具体的に記入ください。	件数	割合
1. 満足している授業が多い	763	14.7%	1. オープンキャンパス	2	1.7%
2. 満足している授業がやや多い	1,891	36.4%	2. ガイダンス	24	19.8%
3. どちらともいえない	1,781	34.3%	3. 大学HP・パンフレット・冊子	29	24.0%
4. 満足している授業がやや少ない	530	10.2%	4. 初年次セミナー	10	8.3%
5. 不満足な授業が多い	180	3.5%	5. 教授・教員	28	23.1%
無回答	48	0.9%	6. 授業・講義・講演	23	19.0%
計	5,193		7. シラバス	3	2.5%
			8. 先輩・友人・職場	2	1.7%
47 【問46で4～5を選んだ方】授業が満足できない理由は何ですか。(複数回答可)	件数	割合	無回答	32	割合計算外
1. 授業内容が難しく理解できない	324	15.0%	計	153	
2. 授業内容がつまらない	698	32.2%			
3. 教員の教え方に工夫が足りない	615	28.4%	61 【全員】貴方が所属する学部の学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)を知っていますか。	件数	割合
4. 受講者が多すぎる	56	2.6%	1. 知っている	939	18.1%
5. 試験・レポートが多すぎる	160	7.4%	2. 知らない	4,185	80.6%
6. 単位認定が厳しすぎる	215	9.9%	無回答	69	1.3%
7. その他	97	4.5%	計	5,193	

2012年度学生生活実態調査 質問項目・集計結果

<p>62 【問61で1を選んだ方】学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)をどこで知りましたか。</p> <p>1. 大学HPで 2. その他 無回答 計</p>	<p>件数 865 63 11 939</p>	<p>割合 / 93.2% / 6.8% 割合計算外 計</p>	<p>50 【博士後期課程の方】RAを担当したことがありますか。</p> <p>1. 担当したことがある 2. 担当したことがない 無回答 計</p>	<p>件数 84 110 7 201</p>	<p>割合 / 41.8% / 54.7% / 3.5% 計</p>
<p>63 【問62で2を選んだ方】知った場所等を具体的に記入ください。</p> <p>1. ガイダンス 2. 大学HP・パンフレット・冊子 3. 教授・教員 4. 授業・講義・講演 5. 先輩・友人 無回答 計</p>	<p>件数 15 13 4 10 2 19 63</p>	<p>割合 / 34.1% / 29.6% / 9.1% / 22.7% / 4.6% 割合計算外 計</p>	<p>51 【RAを担当した方】RAを担当した感想はどれが該当しますか。(複数回答可)</p> <p>1. 担当した内容の理解が深まった 2. 給料がもたらえて助かった 3. 研究を進める上で負担になった 4. その他</p>	<p>件数 56 59 8 4</p>	<p>割合 / 44.1% / 46.5% / 6.3% / 3.1% 計</p>
E. 修学状況について《院生用》					
<p>41 【全員】大学院を受験した理由は何ですか。(複数回答可)</p> <p>1. 学部で学んだ学問をさらに探究したいから 2. 学部で学んだ学問とは違った分野の学問を学びたいから 3. 希望の職種に就職するために不可欠な、より深い知識を得るため 4. 就職する意志がなかったから 5. 就職できそうになかったから 6. 大学教員を目指しているから 7. 研究所やシンクタンクを目指しているから 8. 現在の仕事においてスキルアップを図るため 9. 学位を取得するため 10. その他</p>	<p>件数 725 141 345 134 77 69 74 162 292 0</p>	<p>割合 / 35.9% / 7.0% / 17.1% / 6.6% / 3.8% / 3.4% / 3.7% / 8.0% / 14.5% / 0.0% 計</p>	<p>53 【全員】シラバスで授業目的・内容・レベル、また、成績評価の方法、履修の留意点などよく理解できましたか。</p> <p>1. すべて理解できた 2. よく理解できなかった内容がある 3. シラバスをほとんど読まなかった 無回答 計</p>	<p>件数 479 385 344 8 1,216</p>	<p>割合 / 39.4% / 31.7% / 28.3% / 0.7% 計</p>
<p>42 【全員】大学院進学にあたり、岐阜大学大学院を選んだ主な理由は何ですか。(複数回答可)</p> <p>1. 自分の志望する専門分野があったから 2. 教わりたい指導教員がいたから 3. 環境・設備が優れていると思ったから 4. 社会的評価が高いから 5. 希望した大学院へ入れなかったから 6. 教員の勧め 7. 親・先輩・知人の勧め 8. 国立大学だから 9. 地元の大学院だから 10. その他</p>	<p>件数 669 436 120 48 28 90 111 357 272 0</p>	<p>割合 / 31.4% / 20.5% / 5.6% / 2.3% / 1.3% / 4.2% / 5.2% / 16.8% / 12.8% / 0.0% 計</p>	<p>54 【問53で2を選んだ方】理解できなかったのは、どの内容ですか。(複数回答可)</p> <p>1. 授業目的・内容・レベル 2. 成績評価の方法 3. 履修の留意点</p>	<p>件数 240 153 129</p>	<p>割合 / 46.0% / 29.3% / 24.7% 計</p>
<p>43 【全員】入学までのキャリアはどれが該当しますか。</p> <p>1. 学部卒業後そのまま入学 2. 大学院修了後そのまま入学 3. 入学時に就いていた仕事を続けたまま入学 4. 入学時に就いていた仕事を休職して入学 5. 入学時に就いていた仕事を退職して入学 6. 定年退職後に入学 7. その他 無回答 計</p>	<p>件数 886 68 131 12 56 2 48 13 1,216</p>	<p>割合 / 72.9% / 5.6% / 10.8% / 1.0% / 4.6% / 0.2% / 4.0% / 1.0% 計</p>	<p>56 【全員】大学の自主的学習環境の整備状況に満足していますか。</p> <p>1. 満足している 2. 満足していない 無回答 計</p>	<p>件数 982 224 10 1,216</p>	<p>割合 / 80.8% / 18.4% / 0.8% 計</p>
<p>44 【全員】現在あなたが受けている研究指導方法に満足していますか。</p> <p>1. 満足している 2. やや満足している 3. どちらともいえない 4. やや不満足である 5. 不満足である 無回答 計</p>	<p>件数 576 355 178 54 32 21 1,216</p>	<p>割合 / 47.4% / 29.2% / 14.6% / 4.4% / 2.6% / 1.7% 計</p>	<p>57 【問56で2を選んだ方】満足していないのは、どの環境ですか。</p> <p>1. 自習室 2. グループ討議室 3. 情報機器室 4. 教育設備の授業時間外使用 5. その他 無回答 計</p>	<p>件数 123 12 23 38 26 2 224</p>	<p>割合 / 54.9% / 5.4% / 10.3% / 17.0% / 11.6% / 0.9% 計</p>
<p>45 【全員】現在の授業・研究環境に満足していますか。</p> <p>1. 満足している 2. やや満足している 3. どちらともいえない 4. やや不満足である 5. 不満足である 無回答 計</p>	<p>件数 496 377 208 85 38 12 1,216</p>	<p>割合 / 40.8% / 31.0% / 17.1% / 7.0% / 3.1% / 1.0% 計</p>	<p>58 【全員】履修ガイダンスに参加しましたか。</p> <p>1. 参加した 2. 参加しなかった 無回答 計</p>	<p>件数 933 271 12 1,216</p>	<p>割合 / 76.7% / 22.3% / 1.0% 計</p>
<p>46 【全員】インターンシップに参加しましたか。</p> <p>1. 参加した 2. 参加していない 無回答 計</p>	<p>件数 225 980 11 1,216</p>	<p>割合 / 18.5% / 80.6% / 0.9% 計</p>	<p>59 【問58で1を選んだ方】ガイダンスの内容は理解できましたか。</p> <p>1. よく理解できた 2. 一部理解できなかった 3. 理解できなかった 無回答 計</p>	<p>件数 725 189 14 5 933</p>	<p>割合 / 77.7% / 20.3% / 1.5% / 0.5% 計</p>
<p>47 【インターンシップに参加した方】参加した感想はどれが該当しますか。(複数回答可)</p> <p>1. 有意義な体験ができた 2. 将来の職種を選ぶのに参考になった 3. 予想していたよりも仕事内容がきつかった 4. あまり有意義ではなかった 5. 単位取得のため我慢した 6. その他</p>	<p>件数 188 110 19 10 2 22 635</p>	<p>割合 / 53.6% / 31.3% / 5.4% / 2.9% / 0.6% / 6.2% 計</p>	<p>60 【全員】貴方が所属する大学院の教育研究上の目的を知っていますか。</p> <p>1. 知っている 2. 知らない 無回答 計</p>	<p>件数 635 571 10 1,216</p>	<p>割合 / 52.2% / 47.0% / 0.8% 計</p>
<p>48 【全員】TAを担当したことがありますか。</p> <p>1. 担当したことがある 2. 担当したことがない 無回答 計</p>	<p>件数 695 504 17 1,216</p>	<p>割合 / 57.2% / 41.5% / 1.4% 計</p>	<p>61 【問60で1を選んだ方】教育研究上の目的をどこで知りましたか。</p> <p>1. 大学HPで 2. その他 無回答 計</p>	<p>件数 582 50 3 635</p>	<p>割合 / 91.6% / 7.9% / 0.5% 計</p>
<p>49 【TAを担当した方】TAを担当した感想はどれが該当しますか。(複数回答可)</p> <p>1. 担当した科目の理解が深まった 2. 教える立場の勉強になった 3. 年齢が近く質問しやすい環境ができる 4. 上下の学年のつながりがりを増やす機会になる 5. 担当科目の準備に追われた 6. 給料の割に負担が大きかった 7. その他</p>	<p>件数 333 435 110 186 133 182 39 1,216</p>	<p>割合 / 23.5% / 30.7% / 7.8% / 13.1% / 9.4% / 12.8% / 2.7% 計</p>	<p>62 【問61で2を選んだ方】知った場所等を具体的に記入ください。</p> <p>1. オープンキャンパス 2. ガイダンス 3. 大学HP・パンフレット・冊子 4. 初年次セミナー 5. 教員から 6. 授業・講義・講演 7. シラバス 8. 先輩・友人・職場 無回答 計</p>	<p>件数 0 12 12 0 6 2 0 3 15 50</p>	<p>割合 / 0.0% / 34.3% / 34.3% / 0.0% / 17.1% / 5.7% / 0.0% / 8.6% 割合計算外 計</p>
<p>62 【問62で2を選んだ方】知った場所等を具体的に記入ください。</p> <p>1. ガイダンス 2. 大学HP・パンフレット・冊子 3. 教授・教員 4. 授業・講義・講演 5. 先輩・友人 無回答 計</p>	<p>件数 15 13 4 10 2 19 63</p>	<p>割合 / 34.1% / 29.6% / 9.1% / 22.7% / 4.6% 割合計算外 計</p>	<p>63 【全員】貴方が所属する大学院の学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)を知っていますか。</p> <p>1. 知っている 2. 知らない 無回答 計</p>	<p>件数 405 796 15 1,216</p>	<p>割合 / 33.3% / 65.5% / 1.2% 計</p>

2012年度学生生活実態調査 質問項目・集計結果

質問項目	件数	割合
64 問63で1を選んだ方)学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)をどこで知りましたか。	360	88.9%
1. 大学HPで	37	9.1%
2. その他	8	2.0%
無回答		
計	405	
65 問64で2を選んだ方)知った場所等を具体的に記入ください。	件数	割合
1. ガイダンス	8	30.8%
2. 大学HP・パンフレット・冊子	8	30.8%
3. 教授・教員	7	26.9%
4. 授業・講義・講演	1	3.7%
5. 先輩・友人	2	7.7%
無回答	11	割合計算外
計	37	

F. 基礎的能力について《学部生》

64 岐阜大学では、学生が学位課程教育を通して身に付けることを期待する能力を【基礎的能力】として明示しています。この【基礎的能力】は、大学ホームページに示すような「考える力：総合的判断力」、「伝える力：コミュニケーション力」、「進める力：自立的行動力」を柱とする3つの力、9つの要素で構成されています。あなたは、これまでの学習や生活において基礎的能力を意識して伸ばそうとしてきましたか。それはどのようなときでしたか。

自由意見

質問項目	最終学年	件数	割合
65 あなた自身を振り返って、【基礎的能力】の「考える力：総合的判断力」の《課題発見力：現状を分析し目的や課題を明らかにし準備する力》をどの程度までできると考えますか。		253	18.2%
1. 現状分析して明らかになった目的や課題の解決に取り組む準備ができる		549	39.6%
2. 自ら現状分析し、目的や課題を明らかにできる		383	27.6%
3. 自ら現状分析できるが、目的や課題は他者の援助を借りて明らかにできる		97	7.0%
4. 他者の力を借りて現状分析ができる		82	5.9%
5. 現状分析ができない		24	1.7%
無回答			
計		1,388	

質問項目	最終学年	件数	割合
66 あなた自身を振り返って、【基礎的能力】の「考える力：総合的判断力」の《創造的思考力：複数の考えを組み合わせたり、従来の発想を転換し、新しい価値を生み出す力》をどの程度までできると考えますか。		145	10.5%
1. 様々な分野に関して複数の考えを組み合わせ、新しい発想や価値を創造することができる		349	25.1%
2. 複数の考えを組み合わせることができ、新しい発想を生み出すことができる		527	38.0%
3. 複数の考えを組み合わせることができ		261	18.8%
4. 複数の考えを組み合わせることができない		77	5.6%
5. 複数の考えを組み合わせることができない		29	2.1%
無回答			
計		1,388	

質問項目	最終学年	件数	割合
67 あなた自身を振り返って、【基礎的能力】の「考える力：総合的判断力」の《論理的思考力：物事を分析、統合、比較、関係づけ、筋道を分かりやすくつなげる力》をどの程度までできると考えますか。		192	13.8%
1. 物事を分析統合比較し相互を関連づけて筋道を分かりやすく説明することができる		481	34.7%
2. 物事の一つの対象について、論理立てて考えることができる		492	35.7%
3. 事例や客観的データ等を用いて自分の意見を整理することができる		132	9.5%
4. 物事の分析をすることができる		59	4.3%
5. 物事の分析や統合ができない		32	2.3%
無回答			
計		1,388	

質問項目	最終学年	件数	割合
68 あなた自身を振り返って、【基礎的能力】の「伝える力(コミュニケーション力)」の《発信力：自分の意見を、事例や客観的データ等を用いて聞き手の状況を理解しながらわかりやすく伝える力》をどの程度までできると考えますか。		190	13.7%
1. 自分の意見を、事例や客観的データ等を用いて聞き手の状況を理解しながらわかりやすく伝えることができる		344	24.8%
2. 客観的なデータを用いて自分の意見をわかりやすく伝えることができる		532	38.3%
3. 事例や客観的データ等を用いて自分の意見を整理することができる		204	14.7%
4. 自分の意見をまとめることができる		89	6.4%
5. 自分の意見をまとめることができない		29	2.1%
無回答			
計		1,388	

質問項目	最終学年	件数	割合
69 あなた自身を振り返って、【基礎的能力】の「伝える力(コミュニケーション力)」の《傾聴力：相手の意見を理解しながら丁寧に聞く力》をどの程度までできると考えますか。		434	31.3%
1. 相手の意見を理解しながら丁寧に聞くことができる		488	35.2%
2. 相手の意見を理解しながら聞くことができる		301	21.7%
3. 自分の意見を控え、相手の意見を聞くことができる		105	7.6%
4. 相手の意見を聞くことしない		24	1.7%
5. 相手の意見を聞くことしない		36	2.6%
無回答			
計		1,388	

質問項目	最終学年	件数	割合
70 あなた自身を振り返って、【基礎的能力】の「伝える力(コミュニケーション力)」の《状況把握力：自分と周囲の関係性を理解し、集団や社会、会話等の場でつづられている文脈を把握する力》をどの程度までできると考えますか。		302	21.8%
1. 自分と周囲の関係性を理解し、集団や社会、会話等の場でつづられている文脈を把握し、その状況が説明できる		593	42.7%
2. 自分と周囲の関係性を理解し、その場の状況が把握できる		315	22.7%
3. 自分と周囲の関係性を理解できる		100	7.2%
4. 自分が周囲や状況の中に在ることが理解できる		40	2.9%
5. 自分と周囲の関係性を理解できない		38	2.7%
無回答			
計		1,388	

質問項目	最終学年	件数	割合
71 あなた自身を振り返って、【基礎的能力】の「進める力(自立的行動力)」の《実行力：目的を設定し他人に働きかけ巻き込み等して、確実に実行する力》をどの程度までできると考えますか。		195	14.1%
1. 設定した目的にむけて他人を巻き込み、一緒に達成にむけた行動を確実に実行することができる		311	22.4%
2. 目的を設定し他人に働きかけ巻き込むことができる		604	43.5%
3. 自分から実行できる		202	14.6%
4. 他人から指示されると実行できる		44	3.2%
5. 目的を設定することができない		32	2.3%
無回答			
計		1,388	

質問項目	最終学年	件数	割合
72 あなた自身を振り返って、【基礎的能力】の「進める力(自立的行動力)」の《計画力：課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力》をどの程度までできると考えますか。		254	18.3%
1. 課題解決のプロセスを理解した上で、課題の解決に向けて立案した計画に基づいて行動できる		404	29.1%
2. 課題解決のプロセスを理解した上で、課題の解決に向けた計画が立案できる		399	28.8%
3. 課題の解決に向けたプロセスを明らかにすることができる		251	18.1%
4. 課題の解決に向けて立ち向かうことしない		49	3.5%
5. 課題の解決に立ち向かうことしない		31	2.2%
無回答			
計		1,388	

質問項目	最終学年	件数	割合
73 あなた自身を振り返って、【基礎的能力】の「進める力(自立的行動力)」の《管理力：目的に向かって自身やチーム等の行動や活動をコントロールする力》をどの程度までできると考えますか。		235	16.9%
1. 目的に向かって自身やチーム両方の行動や活動をコントロールすることができる		311	22.4%
2. 目的に向かってチームの行動や活動をコントロールできる		625	45.0%
3. 目的に向かって自分の行動や活動をコントロールできる		142	10.2%
4. 目的に向かって自分やチームの活動をコントロールする必要性が理解できる		44	3.2%
5. 自身の行動や活動をコントロールできない		31	2.2%
無回答			
計		1,388	

F. 基礎的能力について《院生》

66 岐阜大学では、学生が学位課程教育を通して身に付けることを期待する能力を【基礎的能力】として明示しています。この【基礎的能力】は、大学ホームページに示すような「考える力：総合的判断力」、「伝える力：コミュニケーション力」、「進める力：自立的行動力」を柱とする3つの力、9つの要素で構成されています。あなたは、これまでの学習や生活において基礎的能力を意識して伸ばそうとしてきましたか。それはどのようなときでしたか。

自由意見

質問項目	最終学年	件数	割合
67 あなた自身を振り返って、【基礎的能力】の「考える力：総合的判断力」の《課題発見力：現状を分析し目的や課題を明らかにし準備する力》をどの程度までできると考えますか。		139	24.4%
1. 現状分析して明らかになった目的や課題の解決に取り組む準備ができる		205	36.0%
2. 自ら現状分析し、目的や課題を明らかにできる		168	29.5%
3. 自ら現状分析できるが、目的や課題は他者の援助を借りて明らかにできる		22	3.9%
4. 他者の力を借りて現状分析ができる		17	3.0%
5. 現状分析ができない		18	3.2%
無回答			
計		569	

質問項目	最終学年	件数	割合
68 あなた自身を振り返って、【基礎的能力】の「考える力：総合的判断力」の《創造的思考力：複数の考えを組み合わせたり、従来の発想を転換し、新しい価値を生み出す力》をどの程度までできると考えますか。		89	15.6%
1. 様々な分野に関して複数の考えを組み合わせ、新しい発想や価値を創造することができる		154	27.1%
2. 複数の考えを組み合わせることができ、新しい発想を生み出すことができる		187	32.9%
3. 複数の考えを組み合わせることができ		98	17.2%
4. 複数の考えを組み合わせることができない		21	3.7%
5. 複数の考えを組み合わせることができない		20	3.5%
無回答			
計		569	

質問項目	最終学年	件数	割合
69 あなた自身を振り返って、【基礎的能力】の「考える力：総合的判断力」の《論理的思考力：物事を分析、統合、比較、関係づけ、筋道を分かりやすくつなげる力》をどの程度までできると考えますか。		118	20.7%
1. 物事を分析統合比較し相互を関連づけて筋道を分かりやすく説明することができる		214	37.6%
2. 物事の一つの対象について、論理立てて考えることができる		167	29.4%
3. 事例や客観的データ等を用いて自分の意見を整理することができる		39	6.9%
4. 物事の分析をすることができる		17	3.0%
5. 物事の分析や統合ができない		14	2.5%
無回答			
計		569	

質問項目	最終学年	件数	割合
70 あなた自身を振り返って、【基礎的能力】の「伝える力(コミュニケーション力)」の《発信力：自分の意見を、事例や客観的データ等を用いて聞き手の状況を理解しながらわかりやすく伝える力》をどの程度までできると考えますか。		112	19.7%
1. 自分の意見を、事例や客観的データ等を用いて聞き手の状況を理解しながらわかりやすく伝えることができる		165	29.0%
2. 客観的なデータを用いて自分の意見をわかりやすく伝えることができる		205	36.0%
3. 事例や客観的データ等を用いて自分の意見を整理することができる		51	9.0%
4. 自分の意見をまとめることができる		18	3.2%
5. 自分の意見をまとめることができない		18	3.2%
無回答			
計		569	

質問項目	最終学年	件数	割合
71 あなた自身を振り返って、【基礎的能力】の「伝える力(コミュニケーション力)」の《傾聴力：相手の意見を理解しながら丁寧に聞く力》をどの程度までできると考えますか。		197	34.6%
1. 相手の意見を理解しながら丁寧に聞くことができる		215	37.8%
2. 相手の意見を理解しながら聞くことができる		101	17.8%
3. 自分の意見を控え、相手の意見を聞くことができる		31	5.5%
4. 相手の意見を聞くことしない		8	1.4%
5. 相手の意見を聞くことしない		17	3.0%
無回答			
計		569	

2012年度学生生活実態調査 質問項目・集計結果

72 あなた自身を振り返って、【基礎的能力】の「伝える力(コミュニケーション力)」の《状況把握力:自分と周囲の関係を理解し、集団や社会、会話等の場でつづられている文脈を把握する力》をどの程度までできていると思いますか。

	最終学年	件数	割合
1. 自分と周囲の関係を理解し、集団や社会、会話等の場でつづられている文脈を把握し、その状況が説明できる		142	25.0%
2. 自分と周囲の関係を理解し、その場の状況を把握できる		249	43.8%
3. 自分と周囲の関係を理解できる		121	21.3%
4. 自分が周囲や状況の中に在ることが理解できる		28	4.9%
5. 自分と周囲の関係を理解できない		12	2.1%
無回答		17	3.0%
計		569	

73 あなた自身を振り返って、【基礎的能力】の「進める力(自立的行動力)」の《実行力:目的を設定し他人に働きかけ巻き込む等して、確実に実行する力》をどの程度までできていると思いますか。

	最終学年	件数	割合
1. 設定した目的にむけて他人を巻き込み、一緒に達成にむけた行動を確実に実行することができる		110	19.3%
2. 目的を設定し他人に働きかけ巻き込むことができる		161	28.3%
3. 自分から実行できる		222	39.0%
4. 他人から指示されると実行できる		47	8.3%
5. 目的を設定することができない		10	1.8%
無回答		19	3.3%
計		569	

74 あなた自身を振り返って、【基礎的能力】の「進める力(自立的行動力)」の《計画力:課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力》をどの程度までできていると思いますか。

	最終学年	件数	割合
1. 課題解決のプロセスを理解した上で、課題の解決に向けて立案した計画に基づいて行動できる		133	23.4%
2. 課題解決のプロセスを理解した上で、課題の解決に向けた計画が立案できる		177	31.1%
3. 課題の解決に向けたプロセスを明らかにすることができる		170	29.9%
4. 課題の解決に向けて立ち向かうとする		60	10.5%
5. 課題の解決に立ち向かうとしない		11	1.9%
無回答		18	3.2%
計		569	

75 あなた自身を振り返って、【基礎的能力】の「進める力(自立的行動力)」の《管理力:目的に向かって自身やチーム等の行動や活動をコントロールする力》をどの程度までできていると思いますか。

	最終学年	件数	割合
1. 目的に向かって自身やチーム両方の行動や活動をコントロールすることができる		126	22.1%
2. 目的に向かってチームの行動や活動をコントロールできる		134	23.6%
3. 目的に向かって自分の行動や活動はコントロールできる		233	41.0%
4. 目的に向かって自分やチームの活動をコントロールする必要性が理解できる		47	8.3%
5. 自身の行動や活動をコントロールできない		12	2.1%
無回答		17	3.0%
計		569	

G. 課外活動について《学部生・院生共通》

74 【全員】学内外のサークル(以下同好会を含む)に加入していますか。(複数回答可)

	件数	割合
1. 学内の文化系サークルに加入している	1,644	27.3%
2. 学内の体育系サークルに加入している	2,409	40.0%
3. 学外の文化系サークルに加入している	144	2.4%
4. 学外の体育系サークルに加入している	142	2.4%
5. 以前加入していたが、現在は加入していない	315	5.2%
6. 加入したことがない	1,365	22.7%

75 【問74(複数回答)で1~4を選んだ方】サークルでの活動状況はどうですか。

	件数	割合
1. かなり熱心に活動している	1,306	34.1%
2. ある程度熱心に活動している	1,621	42.3%
3. どちらともいえない	507	13.2%
4. あまり活動していない	342	8.9%
5. ほとんど活動していない	18	0.5%
6. その他	9	0.2%
無回答	31	0.8%

76 【問74(複数回答)で1~4を選んだ方】サークルに加入した主な理由は何ですか。

	件数	割合
1. 活動内容に魅力があったから	1,776	46.3%
2. 集団活動に魅力があったから	191	5.0%
3. 友人を得るため	478	12.5%
4. 先輩・友人に勧められたから	291	7.6%
5. 学生生活を豊かにするため	595	15.5%
6. 健康増進のため	127	3.3%
7. 自分の特技を伸ばすため	248	6.5%
8. その他	99	2.6%
無回答	29	0.8%

77 【問74(複数回答)で1~4を選んだ方】サークルで困っていることはありますか。

	件数	割合
1. 特になし	2,743	71.2%
2. お金の問題	686	17.8%
3. アルコールハラスメント	59	1.5%
4. 過度な上下関係	61	1.6%
5. 友人関係	210	5.5%
6. 宗教上の問題	5	0.1%
7. その他	90	2.3%

78 【問74(複数回答)で5~6を選んだ方】サークルに加入していない主な理由は何ですか。

	件数	割合
1. 魅力的なサークルがない	374	15.7%
2. 集団生活についていけない	67	2.8%
3. 時間的余裕がない	857	36.0%
4. 学業の妨げになる	120	5.0%
5. 体力・能力に自信がない	51	2.1%
6. 個人の金銭的負担が多い	109	4.6%
7. 特に理由はないが何となく	452	19.0%
8. その他	240	10.1%
無回答	113	4.7%

79 【全員】昨年の岐大祭に参加しましたか。

	件数	割合
1. はい	2,256	35.2%
2. いいえ	4,036	63.0%
無回答	117	1.8%
計	6,409	

80 【全員】岐大祭や企業説明会などの学生行事についてどのように考えていますか。

	件数	割合
1. 必要であり積極的に参加している	1,484	23.2%
2. 必要だがあまり参加していない	2,904	45.3%
3. どちらでもない	1,578	24.6%
4. なくともいい	332	5.2%
無回答	111	1.7%
計	6,409	

81 【全員】大学入学後にボランティア活動をしたことがありますか。

	件数	割合
1. 個人でしたことがある	877	13.7%
2. 団体でしたことがある	670	10.5%
3. ない	4,756	74.2%
無回答	106	1.7%
計	6,409	

82 【全員】カルト宗教団体や自己啓発セミナーなどへの参加勧誘を受けたことがありますか。

	件数	割合
1. 勧誘を受けたことがある	1,299	20.3%
2. 他人が勧誘を受けているのを見たことがある	262	4.1%
3. 勧誘を受けたことがない	3,743	58.4%
4. わからない	1,004	15.7%
無回答	101	1.5%
計	6,409	

83 【全員】岐阜大学へ来ている留学生と交流がありますか。

	件数	割合
1. 交流がある	1,870	29.2%
2. 交流はないが、交流したい	2,653	41.4%
3. 交流はなく、交流したいと思わない	1,646	25.7%
4. 私は留学生である	143	2.2%
無回答	97	1.5%
計	6,409	

84 【全員】海外留学を希望しますか。

	件数	割合
1. ぜひ留学したい	776	12.1%
2. できれば留学したい	1,712	26.7%
3. 留学したくない	953	14.9%
4. 留学を考えたことがない	2,033	31.7%
5. わからない	844	13.2%
無回答	91	1.4%
計	6,409	

85 【問84で1~2を選んだ方】どのような支援を希望しますか。

	件数	割合
1. ガイダンス	548	22.0%
2. 奨学金	1,815	73.0%
3. 健康管理	105	4.2%
無回答	20	0.8%
計	2,488	

H. 進路・就職について《学部生・院生共通》

86 【全員】進路を考える上での情報入手手段は何ですか。(複数回答可)

	件数	割合
1. 指導教員	2,681	12.9%
2. 就職担当教員	1,529	7.4%
3. 先輩・知人	3,499	16.9%
4. 直接会社・照会	506	2.4%
5. 就職情報誌・マスコミ	2,240	10.8%
6. 家族等	1,896	9.1%
7. 大学内資料	2,174	10.5%
8. インターネット	5,056	24.4%
9. 就職支援室情報	1,005	4.8%
10. その他	165	0.8%

87 【全員】進学希望ですか。就職希望ですか。

	件数	割合
1. 進学	1,456	22.7%
2. 就職	3,690	57.6%
3. まだわからない	1,151	18.0%
無回答	112	1.7%
計	6,409	

88 【全員】将来の就職先選択で重視することは何ですか。(複数回答可)

	件数	割合
1. 仕事内容(やりがい)	5,686	23.7%
2. 能力が発揮できる	2,914	12.1%
3. 勤務地の地理的条件	2,336	9.7%
4. 将来性・安定性	4,020	16.7%
5. 給料	3,558	14.8%
6. 労働日数・勤務時間	2,658	11.1%
7. 昇進など評価基準が明確	712	3.0%
8. 福利厚生施設が充実	1,924	8.0%
9. その他	220	0.9%

89 【全員】将来の希望職種は決まっていますか。(複数回答可)

	件数	割合
1. 技術職	3,048	31.5%
2. 事務職	616	6.4%
3. 企業等の研究	1,274	13.1%
4. 教育職	937	9.7%
5. 専門職(医師等)	825	8.5%
6. 大学・官公庁の教育研究職	476	4.9%
7. 6以外の公務員	835	8.6%
8. マスコミ関係	123	1.3%
9. その他	445	4.6%
10. 未定	1,114	11.5%

90 【全員】大学が行う就職セミナーに参加しますか。

	件数	割合
1. 参加する	1,146	17.9%
2. 時間があれば参加する	2,769	43.2%
3. 参加しない	1,296	20.2%
4. まだわからない	1,198	18.7%
計	6,409	

2012年度学生生活実態調査報告書
2013年 4月
大学教育委員会

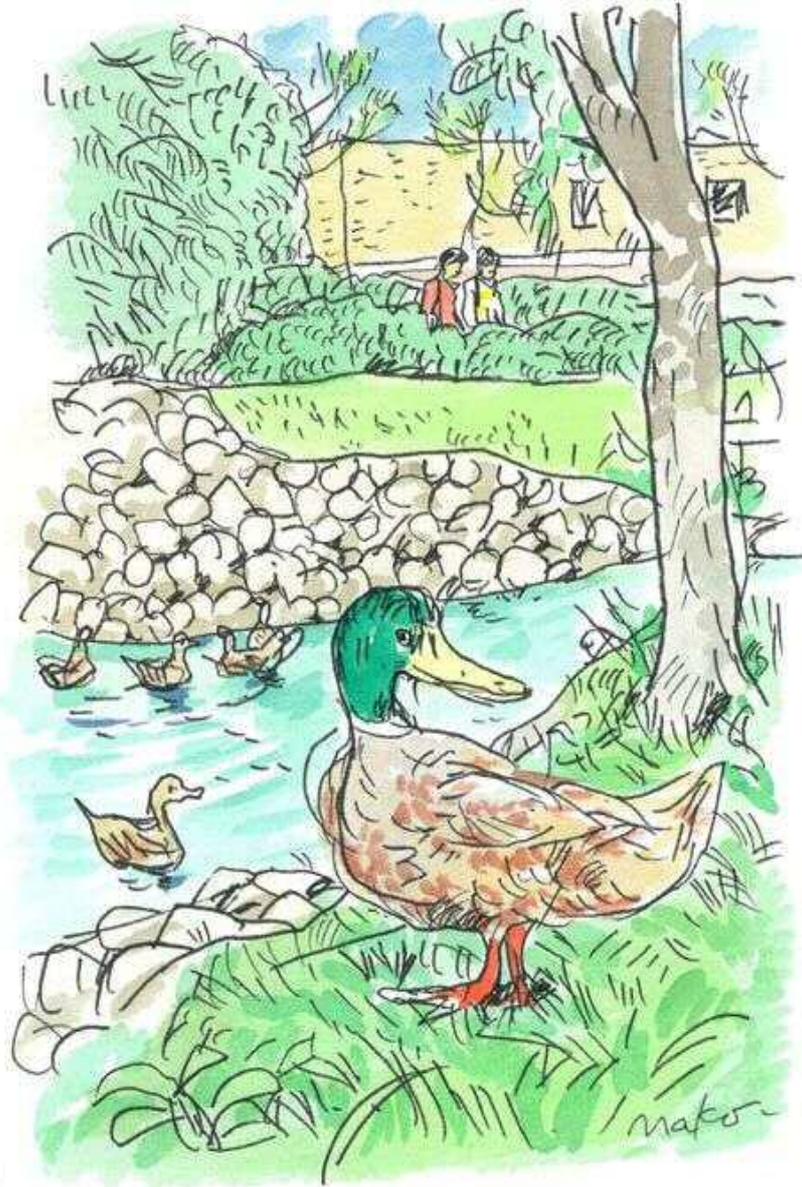
学生生活実態調査ワーキング・グループ

委員長	前田 貞俊 (応用生物科学部)		
委員	今井 一 (教育学部)	山本 公德 (地域科学部)	
	三好 美浩 (医学部)	石田 勝 (工学部)	
	佐渡 忠洋 (保健管理センター)		
事務	桐山 敏 (学務部)		
	小澤 喜寿 (")	白木 仁雄 (")	



国立大学法人

岐阜大学



絵 永沢 まこと